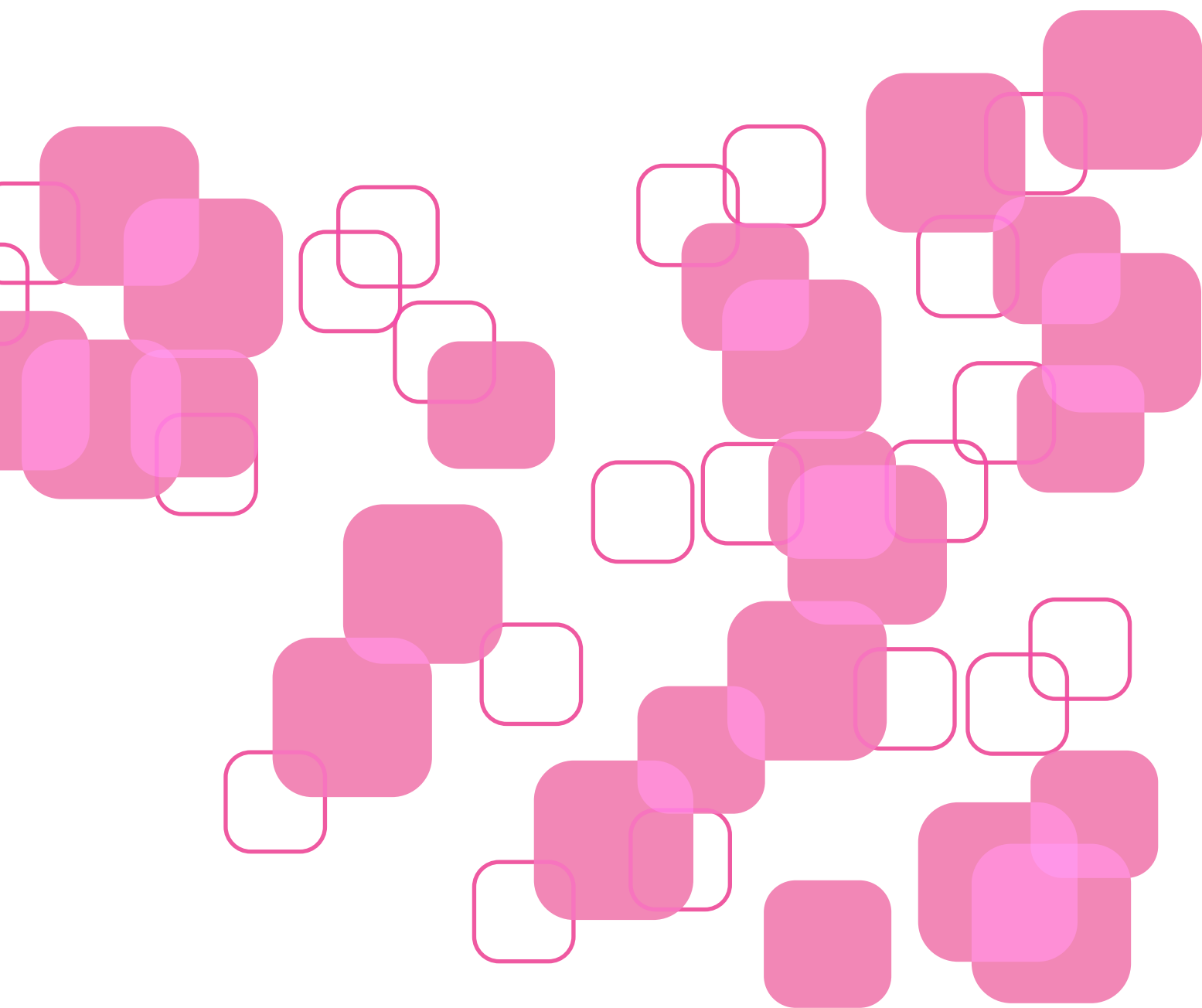


スクーリングガイド

2024



奈良大学 通信教育部

目 次

1. 『スクーリングガイド』の活用方法	1
2. スクーリング受講の流れ	2
3. 時間割およびスクーリング開講日程等	6
①スクーリングの授業時間	
②科目別スクーリング開講日程	
③開講日程別スクーリング科目	
④履修人数の制限	
⑤スクーリング出席予定調査票	
⑥卒業予定者および最終学年生のスクーリング最終受講期限について	
4. スクーリング科目の履修登録	10
5. スクーリング受講手続き	11
①スクーリング受講手続きの日程	
②スクーリング受講申込書の提出	
③スクーリング授業料の納入	
④学外スクーリングについて	
⑤スクーリングの欠席およびスクーリング授業料の返金手続きについて	
⑥スクーリング科目のテキストについて	
⑦学外スクーリング受講時の注意事項	
6. 緊急時の授業等の取り扱い	15
①気象警報による休講	
②公共交通機関の遅延の場合	
7. スクーリング放課後の科目修得試験	19
①受験までの流れ	
②スクーリング放課後の科目修得試験の時間割	
③卒業予定者および最終学年生の科目修得試験最終受験期限について	
④成績通知	
⑤スクーリング放課後の科目修得試験開催日程	
8. 宿泊関係	23
①宿泊施設	
②旅行代理店への申込み	
9. 利用できる制度	30
①学校学生生徒旅客運賃割引証（学生割引証）	
②実習用通学定期券について	
③出席依頼状	
④自動車通学（二輪を除く）	
10. 授業科目の内容（シラバス）	
科目ナンバリング	34
学習時間について	36

＜教養科目＞	国際関係論Ⅳ	37	データ処理論	38
	英語Ⅰ	39	英語Ⅱ	40
	英語Ⅲ	41	中国語	42
＜専門科目＞	史学講読Ⅱ	43	文化財学講読Ⅱ	44
	史学演習Ⅰ	45	史学演習Ⅱ	47
	史学演習Ⅲ	49	文化財学演習Ⅰ	50・51
	文化財学演習Ⅱ	52・53	文化財学演習Ⅲ	54
	日本史特殊講義	55	考古学特殊講義	56
	美術史特殊講義	57	奈良文化論	58
	神話伝承論	60	歴史地理学	61
	仏教考古学	63	文化財修復学	64
＜自由選択科目＞	地理情報システム	65・66	心理学基礎	67・68
	社会学基礎	69	経営学基礎	70・71
	臨床心理学	72	情報処理	73

11. 様式

- ①スクーリング受講申込書
- ②スクーリング放課後の科目修得試験受験申込書
- ③学生割引証発行願
- ④出席依頼状発行願
- ⑤自動車通学申請書
- ⑥宿泊申込用紙
- ⑦スクーリング授業料返金願

お問い合わせ先

大学への交通案内（経路図、大学周辺図）

※本冊子に記載の郵便料金は、2024年4月現在の料金を記載しています。恐れ入りますが、郵便料金に変更となった場合、日本郵便株式会社の公式ホームページ等で郵便料金を確認の上、必要料金分の切手を貼付願います。

1. 『スクーリングガイド』の活用方法

『スクーリングガイド』には、講義の概要、スクーリング開講日程、手続方法等の受講に必要な内容を掲載しています。各自熟読のうえ、履修科目の決定や履修計画を立ててください。なお、日程の変更等が発生した場合は奈良大学通信教育部ホームページ等で事前に連絡します。

《活用方法》

- 1) 毎学年始めに必ず履修登録（当該学年で学習したい科目を選択します）を行ってください。スクーリング科目は、まず「10. 授業科目の内容」で科目の実施概要を理解し、「3. 時間割およびスクーリング開講日程等」で開講日程を確認した上で履修登録を行います。**履修登録をしていませんと、スクーリングの受講ができません。**

ただ、4月生は、学年始めから数えて最短で約3ヶ月後、最長でほぼ1年後の開講日程になりますので、履修登録の段階で確実に受講可能か否かの判断は難しいと思います。

また、10月生は、履修登録の段階（毎年10月）では、翌年4月から9月末までの開講日程が分からない状況で履修登録を行っていただきます。

スクーリング授業料（1単位につき8千円、別途必要）は、履修登録の段階ではまだ納入の必要がありません。なお、**学年途中での履修登録の追加は出来ませんので、受講を希望する科目は必ず履修登録してください。**

また、履修登録とあわせて、「スクーリング出席予定調査票」の提出をお願いします。これは、複数回開講される日程のどの開講日程に出席されるかを調査し、開講日程ごとのおおよその受講生数を把握することを目的としています。

※スクーリング出席予定調査票は、あくまで出席予定の調査をするものであり、スクーリング受講申込書ではありません。お間違えの無いように注意してください。

- 2) 履修登録後、「5. スクーリング受講手続き」の「①スクーリング受講手続きの日程」をご覧ください。受講希望科目の開講日程と申込期間を確認してください。確認後、開講日程の申込期間内に到着するようにスクーリング受講申込書を郵送（窓口提出可能）してください。**申込期間内に受け付けたスクーリング受講申込書の提出者に対し、開講日程ごとに定めた納入用紙発送日にスクーリング授業料納入用紙を送付します。**この納入用紙を用いてスクーリング授業料を所定の納入期限までに納入していただきますとスクーリング受講手続き完了です。

※学年始めの履修登録だけではスクーリングを受講することはできません。

※スクーリング授業料納入用紙は、開講日程ごとに定めた納入用紙発送日に対象者全員へ一斉送付します。早い時期にスクーリング受講申込書を郵送（窓口提出）されてもスクーリング授業料納入用紙の発送時期が早くなることはありません。

※納入用紙発送日から5日間が経過しても納入用紙が届かない場合は、通信教育部事務室まで電話で連絡してください。

※スクーリング授業料は、必ず送付した納入用紙を用いて納入してください。

- 3) 受講手続きと並行して、「7. スクーリング放課後の科目修得試験」、「8. 宿泊関係」、「9. 利用できる制度」を参照の上、科目修得試験の申込み、宿泊施設の確保、学生割引証の取り寄せなど、スクーリング受講に付随する各種手続きを進めてください。

- 4) スクーリング受講の直前には、「6. 緊急時の授業等の取り扱い」や裏表紙の「大学への交通案内（経路図、大学周辺図）」にも目を通しておいてください。

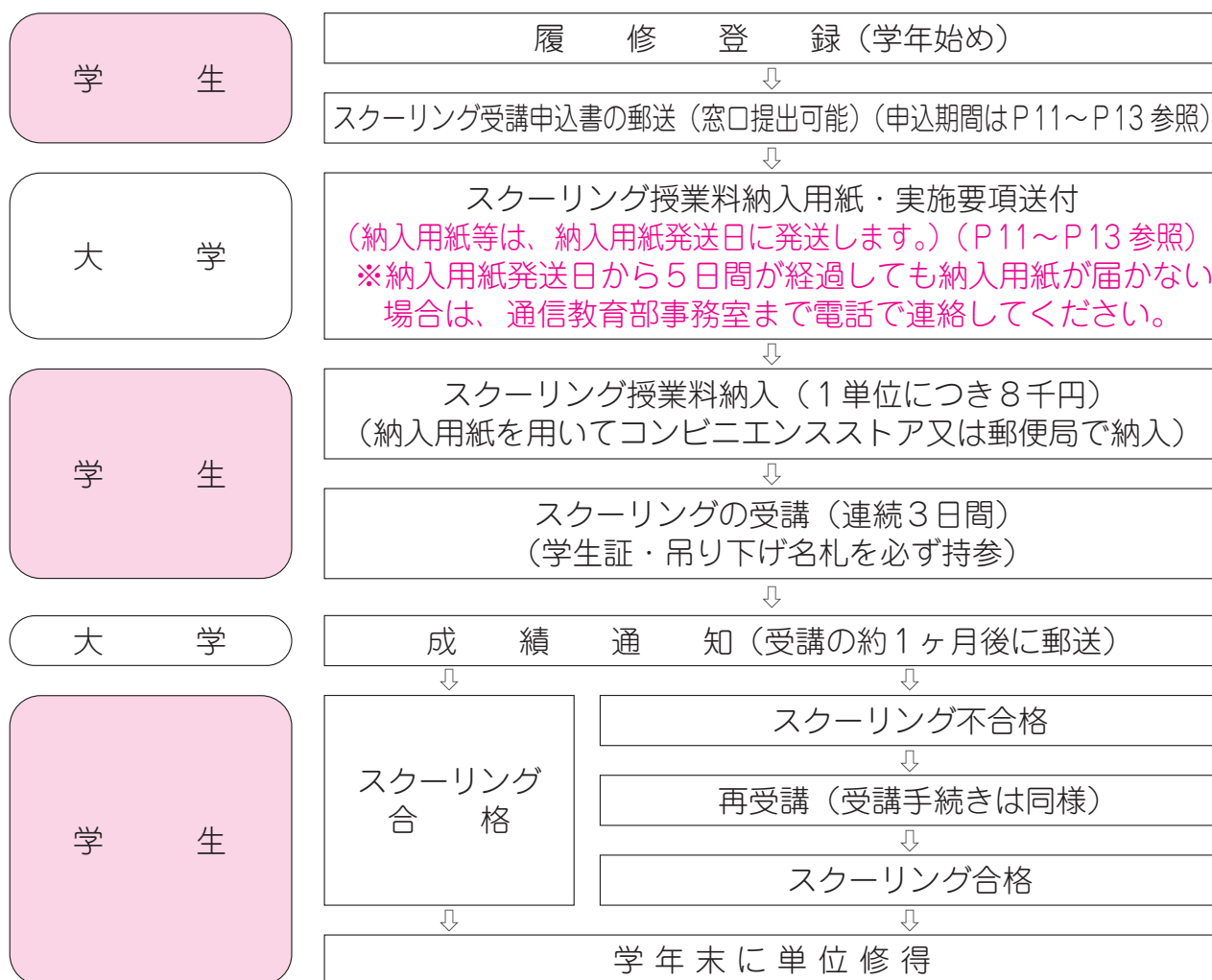
- 5) スクーリング受講時には、本スクーリングガイドを持参されることをお勧めします。

2. スクーリング受講の流れ

スクーリング（面接授業）は、テキストを基にした在宅学習が中心の大学通信教育にあって、文化財や歴史を学ぶ上で在宅学習では学び取ることができない実物を見て体感的に学び、教員や学生間の対面による交流を促進するといった教育的な意義を持ち合わせています。

ここでは、これから詳しく説明しますスクーリングについて、まず最初に覚えておいていただきたい内容を箇条書きと概要図にしています。また、スクーリングの受講に関する様々な疑問などを〈スクーリング受講に関するQ & A〉として掲載しています。こちらをご覧ください。

- スクーリングは、1つの科目を3日間連続（金～日曜日の週末を中心に開講）の集中講義で受講していただきます。3日間のスクーリングで2科目、3科目と複数科目を受講することはできません。
- 履修登録したスクーリング科目を受講するには、開講日程ごとの申込期間内に通信教育部事務室へ到着するようスクーリング受講申込書を郵送（窓口提出可能）していただきます。
- 1科目につき年2回以上（複数回）開講します（英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのみ年1回）。いずれかの連続3日間に出席すれば成績評価を行います。
- スクーリング科目は、後日、試験などは行いません。3日間のスクーリング中に試験（3日間の受講評価も含む）等を実施して学習成果を確認し、合否判定を行います。
- スクーリングの受講には、1単位につき8千円の授業料が学費とは別に必要です。
- スクーリング授業料は、受講の直前に納入していただきます。履修登録時ではありません。
- 諸事情により受講手続きしたスクーリングを3日間とも欠席される場合、納入された当該スクーリング授業料は、所定の手続きを経て、全額返金します。
- スクーリングの開催場所は、本学もしくは奈良県下の諸施設・諸地域で行います。
- スクーリング授業料納入用紙送付時に実施要項等の資料を同封します。
- スクーリング時の宿泊施設に関しては、「8. 宿泊関係」をご覧ください。
- 卒業に必要なスクーリング単位数は別冊子『ハンドブック』をご覧ください。
- スクーリング放課後の科目修得試験とは、スクーリング開講日の授業終了後（放課後）に実施するテキスト科目の最終試験のことです。受講されるスクーリング科目の試験のことではありません。
- スクーリング受講の約1ヶ月後に成績通知書を送付します。電話や窓口で点数、合否をお知らせすることはできません。合否判定については、送付します成績通知書にて確認してください。成績通知書の点数が60点以上の場合、合格です。合格された科目は、学年末に今学年の修得単位として認定します。
- 合格されたスクーリング科目は、再受講することはできません。翌学年以降、履修登録することもできません。
- スクーリングは、本学通信教育部の正科生が履修登録等、所定の手続きを経た上で受講することができる本学通信教育部の正規の授業です。
本学通信教育部の正科生であっても履修登録等、所定の手続きをされていないと受講できません。
ご家族、卒業生等、正科生以外の方は、一切、スクーリングを受講（教室内、学外の授業全て）することができません。ご注意願います。
- スクーリング受講時、他の受講生に迷惑を及ぼす恐れや授業の実施に支障をきたす恐れがありますので、ペットはお連れにならないでください。
通信教育部事務室でお預かりすることもできません。ご注意願います。



<スクーリング受講に関するQ & A>

Q： 同じ日程（3日間）で「仏教考古学」と「経営学基礎」の2科目を受講したいのですが、可能ですか？

A： できません。

本学のスクーリングは、1科目を3日間連続で受講していただきます。このため、同じ日程で複数の科目を受講することはできません。

Q： スクーリング受講申込書を申込期間締切間際に送りました。定員超過などの理由で受講を断られることはありますか？

A： お断りすることはありません。

学年始めに履修登録されたスクーリング科目を所定の申込期間内に到着するようスクーリング受講申込書を郵送（窓口提出可能）して、納入期限までにスクーリング授業料を納入していただきましたら受講可能です。ご質問のように申込期間内に受講申込みされた方へ、申込み多数の為に受講をお断りするということはありません。

Q： 「スクーリング出席予定調査票」で出席予定とした日程が都合により受講できなくなりました。別の日程で受講することは可能でしょうか？

- A： 可能です。
「スクーリング出席予定調査票」は、事前におおよその受講生数を把握し、教室の確保等の授業運営を検討するために実施しています。都合によって受講日程を変更していただいても構いません。日程変更を通信教育部事務室へ連絡していただく必要ありません。ただし、履修人数制限科目（「データ処理論」、「地理情報システム」、「情報処理」）は、履修登録後に決定通知書にてお知らせしました日程でしか受講ができません。
- Q： 申込開始直後にスクーリング受講申込書を郵送（窓口提出）しました。2週間経過しても、まだスクーリング授業料納入用紙が送られてきません。どうしてですか？
- A： スクーリング授業料納入用紙の発送は、開講日程ごとに定めた納入用紙発送日に送付します。このため、申込開始直後に郵送（窓口提出）いただいた方には、しばらくお待ちいただくことになります。日程ごとの納入用紙発送日は、本冊子P 11～13に掲載しています。なお、複数科目分をまとめて受講申込みされても、納入用紙の送付は開講日程ごと（1科目ごと）になります。**納入用紙発送日から5日間が経過しても納入用紙が届かない場合は、通信教育部事務室まで電話で連絡してください。**
- Q： スクーリング授業料を、口座振替等で直接納入することはできますか？
- A： いいえ、できません。必ず大学から送付の納入用紙を用いて納入してください。
- Q： スクーリング受講の際に学生割引証が必要です。どのような手続きが必要ですか？
- A： 学生割引とは、JRの鉄道・バス・航路を片道101km以上乗車する場合、普通乗車券が2割引きで購入可能な制度です。ただし、発行は、スクーリングの受講、科目修得試験の受験等、学校行事への出席のみ対象となります。学生割引証の申込方法などは、本冊子P 30～31をご覧ください。
- Q： 受講申込みをしたスクーリングが都合により出席できなくなりました。スクーリング授業料はまだ納入していません。何か手続きが必要でしょうか？
- A： スクーリング授業料が未納の場合、通信教育部事務室へ欠席される旨をご連絡いただくだけで結構です。
- Q： 明日から受講予定だったスクーリングが急用により出席できなくなりました。もちろん、スクーリング授業料は納入しています。何か手続きが必要でしょうか？
- A： スクーリング授業料納入済みの方が、都合により欠席される場合、事前に通信教育部事務室へ必ずご連絡願います。この場合、納入いただいたスクーリング授業料を返金しますので本冊子巻末の「スクーリング授業料返金願」をコピーし、必要事項を記入の上、通信教育部事務室へ郵送（窓口提出可能）してください。「スクーリング授業料返金願」の到着から約1ヵ月後に当該スクーリング授業料を振込にて返金します。なお、「スクーリング授業料返金願」が未提出の場合、返金手続きが行えませんのでご注意ください。また、欠席された科目のスクーリング授業料を、以後のスクーリング受講時の授業料に充当することはできません。
- Q： スクーリング初日は出席しましたが、2日目が出席できなくなりました。どのような手続きが必要ですか？
- A： 通信教育部事務室へ欠席される旨を電話でご連絡ください。
なお、スクーリングの成績評価は、3日間連続して出席することが条件となりますので、欠席された場合は成績評価を行うことはできません。3日目の受講もできません。また、**スクーリングの一部に出席されていますので、スクーリング授業料の返金もできません。**

Q： スクーリングには、試験等がありますか？

A： スクーリングの成績評価は、3日間の授業の中で行います。あらためて別の日程で試験等は実施しません。各科目の評価方法は、スクーリング授業料納入用紙に同封の科目ごとのスクーリング実施要項でお知らせします。評価方法は、授業形態により異なります。最終日の最終時限に試験を行う科目、各日（3日間）ごとにレポート提出が必要な科目や発表などで評価を行う科目など様々です。

Q： スクーリング放課後の科目修得試験とは何ですか？

A： スクーリング開講日の放課後にスクーリングとは別に行う試験のことで、**スクーリング科目の試験ではなく、テキスト科目の試験です**。科目修得試験は、レポートの合格により受験が可能になります。通常の科目修得試験は、『ハンドブック』に記載の開催日程で、奈良大学を含め各都市（札幌・東京・名古屋・岡山・広島・福岡など）で実施します。受験機会を増やすことなどを目的に、スクーリングの放課後にも各日2科目分の科目修得試験を実施します。遠方から来られてスクーリングを受講される方は、スクーリングの受講とあわせて、科目修得試験を受験していただければ結構かと思います。ただし、学外授業実施日は、スクーリング放課後の科目修得試験開始時間までに大学に戻れない為、原則受験することができません。

Q： スクーリング放課後の科目修得試験の受験手続きは、どのような手続きですか？

A： スクーリングを受講される方で、スクーリング放課後の科目修得試験を受験予定の場合、スクーリング授業料納入用紙に同封の各科目ごとのスクーリング実施要項で科目修得試験受験可能日を確認してください。科目によっては、学外授業等の関係で受験できない日があります。受験可能日を確認後、本冊子巻末のスクーリング放課後の科目修得試験申込書をコピーし、必要事項を記入の上、通信教育部事務室へ郵送してください。窓口でも受付可能です。申込期間は、スクーリング開講日初日の2週間前から4日前（必着）（P22参照）です。なお、スクーリング放課後の科目修得試験受験許可書は、返送しません。**当該スクーリング開講日の初日から試験当日の開始時間までの間に、通信教育部事務室窓口で学生証を呈示して受け取ってください。**

Q： スクーリングを受講していない日に、スクーリング放課後の科目修得試験だけを受験することは可能でしょうか？

A： 可能です。

スクーリング開講日初日の2週間前から4日前（必着）（P22参照）の申込期間内に到着するよう、本冊子巻末の科目修得試験受験申込書をコピーし、必要事項を記入の上、通信教育部事務室へ郵送してください。窓口でも受付可能です。なお、スクーリング放課後の科目修得試験受験許可書は、返送しません。**当該スクーリング開講日の初日から試験当日の開始時間までの間に、通信教育部事務室窓口で学生証を呈示して受け取ってください。**

Q： スクーリング期間中、通信教育部事務室は業務を行っていますか？

A： はい、行っています。

スクーリング開講日は、曜日を問わず9時～18時30分まで受付対応を行っています。学習相談や各種手続きなど、ご用のある方はどうぞお越しください。

3. 時間割およびスクーリング開講日程等

①スクーリングの授業時間 10:00～15:50

(午前) 10:00～12:30

(午後) 13:20～15:50

(質問) 16:00～17:00

※スクーリング放課後の科目修得試験は、(5限目) 16:20～17:10、(6限目) 17:20～18:10の2時限実施します。1日に2科目まで受験可能です。受験申込みについては、P19～22を参照してください。なお、スクーリング放課後の科目修得試験は、テキスト科目の最終試験のことを指します。スクーリングの試験ではありません。お間違えの無いよう注意してください。

②科目別スクーリング開講日程

開講日程のうち各科目ともいずれかの日程(連続3日間)を受講すれば、成績評価を行います。なお、履修登録したスクーリング科目を受講するには、開講日程ごとの申込期間内に通信教育部事務室へ到着するようスクーリング受講申込書を郵送(窓口提出可能)していただく必要があります。開講日程ごとの申込期間は、P11～13をご覧ください。

開講日程に表記しています配当年次は、履修登録が可能な学年(年次)を表わしています。

<教養科目>

科目名	担当教員	配当年次	単位数	開 講 日 程
国際関係論Ⅳ	横山	2 ～ 4	2	①2024年9月6日(金)～9月8日(日) ②2025年2月21日(金)～2月23日(日)
データ処理論※	横田	2 ～ 4	1	①2024年8月9日(金)～8月11日(日) ②2025年2月7日(金)～2月9日(日)
英語Ⅰ	岡部	1 ～ 4	1	①2024年9月6日(金)～9月8日(日)
英語Ⅱ	古木	1 ～ 4	1	①2025年2月14日(金)～2月16日(日)
英語Ⅲ	マーティン	1 ～ 4	1	①2025年2月7日(金)～2月9日(日)
中国語	羅	1 ～ 4	1	①2024年9月6日(金)～9月8日(日) ②2025年3月7日(金)～3月9日(日)

※印は、履修人数制限科目

「スポーツ実技」は2024年度不開講

<専門科目>

科目名	担当教員	配当年次	単位数	開 講 日 程
史学講読Ⅱ	井岡	2 ～ 4	2	①2024年8月30日(金)～9月1日(日) ②2025年2月14日(金)～2月16日(日)
文化財学講読Ⅱ	★深澤	2 ～ 4	2	①2024年9月13日(金)～9月15日(日) ②2025年2月7日(金)～2月9日(日) ③2025年3月7日(金)～3月9日(日)
史学演習Ⅰ	森川	3 ～ 4	2	①2024年8月2日(金)～8月4日(日) ②2025年2月7日(金)～2月9日(日)
史学演習Ⅱ	木下	3 ～ 4	2	①2024年9月6日(金)～9月8日(日) ②2025年2月21日(金)～2月23日(日)
史学演習Ⅲ	外岡	4	2	①2024年8月9日(金)～8月11日(日) ②2025年2月14日(金)～2月16日(日)
文化財学演習Ⅰ	豊島	3 ～ 4	2	①2024年8月9日(金)～8月11日(日) ②2024年9月6日(金)～9月8日(日) ③2025年2月14日(金)～2月16日(日)
	★関根			①2024年8月23日(金)～8月25日(日) ②2025年2月21日(金)～2月23日(日)
文化財学演習Ⅱ	岩戸	3 ～ 4	2	①2024年8月30日(金)～9月1日(日) ②2025年2月14日(金)～2月16日(日)
	小林			①2024年8月2日(金)～8月4日(日) ②2024年9月13日(金)～9月15日(日) ③2025年2月7日(金)～2月9日(日)
文化財学演習Ⅲ	魚島	4	2	①2024年8月9日(金)～8月11日(日) ②2024年8月30日(金)～9月1日(日) ③2025年2月14日(金)～2月16日(日)
日本史特殊講義	★寺崎	3 ～ 4	2	①2024年8月23日(金)～8月25日(日) ②2024年9月13日(金)～9月15日(日) ③2025年3月7日(金)～3月9日(日)
考古学特殊講義	相原	3 ～ 4	2	①2024年9月13日(金)～9月15日(日) ②2025年2月21日(金)～2月23日(日) ③2025年3月7日(金)～3月9日(日)
美術史特殊講義	原口	3 ～ 4	2	①2024年8月30日(金)～9月1日(日) ②2025年2月14日(金)～2月16日(日) ③2025年3月7日(金)～3月9日(日)
奈良文化論	光石・木田	1 ～ 4	2	①2024年8月9日(金)～8月11日(日) ②2024年8月30日(金)～9月1日(日) ③2025年2月7日(金)～2月9日(日)
神話伝承論	鈴木(喬)	1 ～ 4	2	①2024年8月9日(金)～8月11日(日) ②2024年9月6日(金)～9月8日(日) ③2025年2月14日(金)～2月16日(日)
歴史地理学	土平	3 ～ 4	2	①2024年9月6日(金)～9月8日(日) ②2025年2月21日(金)～2月23日(日) ③2025年3月7日(金)～3月9日(日)
仏教考古学	★狭川	1 ～ 4	2	①2024年8月23日(金)～8月25日(日) ②2024年9月13日(金)～9月15日(日) ③2025年2月21日(金)～2月23日(日)
文化財修復学	★山内	3 ～ 4	2	①2024年8月9日(金)～8月11日(日) ②2024年9月6日(金)～9月8日(日) ③2025年2月7日(金)～2月9日(日)

★印は、非常勤講師

<自由選択科目>

科目名	担当教員	配当年次	単位数	開 講 日 程
地理情報システム※	酒井 芝田	3 ～ 4	2	①2024年 8月23日(金)～ 8月25日(日) ①2025年 2月14日(金)～ 2月16日(日)
心理学基礎	太田 卜部	1 ～ 4	2	①2024年 8月30日(金)～ 9月1日(日) ①2025年 3月7日(金)～ 3月9日(日)
社会学基礎	吉村	2 ～ 4	2	①2024年 8月2日(金)～ 8月4日(日) ②2025年 2月7日(金)～ 2月9日(日)
経営学基礎	尾上 倉	1 ～ 4	2	①2024年 8月9日(金)～ 8月11日(日) ①2025年 3月7日(金)～ 3月9日(日)
臨床心理学	鈴木(孝)・武本	3 ～ 4	2	①2024年 8月30日(金)～ 9月1日(日) ②2025年 2月21日(金)～ 2月23日(日)
情報処理※	正司	2 ～ 4	2	①2024年 8月2日(金)～ 8月4日(日) ②2025年 3月7日(金)～ 3月9日(日)

※印は、履修人数制限科目

③開講日程別スクーリング科目

開 講 日	1 年次以上対象	2 年次以上対象	3 年次以上対象	4 年次以上対象
2024年 8/2(金)～8/4(日)		社会学基礎 情報処理	史学演習Ⅰ 文化財学演習Ⅱ	
8/9(金)～8/11(日)	奈良文化論 神話伝承論 経営学基礎	データ処理論	文化財学演習Ⅰ 文化財修復学	史学演習Ⅲ 文化財学演習Ⅲ
8/23(金)～8/25(日)	仏教考古学		◆文化財学演習Ⅰ 日本史特殊講義 地理情報システム	
8/30(金)～9/1(日)	◆奈良文化論 心理学基礎	史学講読Ⅱ	◆文化財学演習Ⅱ 美術史特殊講義 臨床心理学	◆文化財学演習Ⅲ
9/6(金)～9/8(日)	英語Ⅰ 中国語 ◆神話伝承論	国際関係論Ⅳ	史学演習Ⅱ ◆◆文化財学演習Ⅰ 歴史地理学 ◆文化財修復学	
9/13(金)～9/15(日)	◆仏教考古学	文化財学講読Ⅱ	◆◆文化財学演習Ⅱ ◆日本史特殊講義 考古学特殊講義	
2025年 2/7(金)～2/9(日)	英語Ⅲ ◆◆奈良文化論	◆データ処理論 ◆文化財学講読Ⅱ ◆社会学基礎	◆史学演習Ⅰ ◆◆◆文化財学演習Ⅱ ◆◆文化財修復学	
2/14(金)～2/16(日)	英語Ⅱ ◆◆神話伝承論	◆史学講読Ⅱ	◆◆◆文化財学演習Ⅰ ◆◆◆文化財学演習Ⅱ ◆美術史特殊講義 ◆地理情報システム	◆史学演習Ⅲ ◆◆文化財学演習Ⅲ
2/21(金)～2/23(日)	◆◆仏教考古学	◆国際関係論Ⅳ	◆史学演習Ⅱ ◆◆◆文化財学演習Ⅰ ◆考古学特殊講義 ◆歴史地理学 ◆臨床心理学	
3/7(金)～3/9(日)	◆中国語 ◆心理学基礎 ◆経営学基礎	◆◆文化財学講読Ⅱ ◆情報処理	◆◆日本史特殊講義 ◆◆考古学特殊講義 ◆◆美術史特殊講義 ◆◆歴史地理学	

※ ◆印は各科目の2回目以降の実施分を表しています。例えば◆◆は、3回目の実施分となります。

④履修人数の制限

履修人数制限科目は、以下の＜履修人数制限科目＞に記載した3科目のみです。それ以外の科目は、履修人数の制限を原則行いません。そのため履修人数が多い科目もありますが、履修人数を制限することにより受講希望者が受講できないことを避けることの方が重要だと考えています。特に通信教育の特性から受講機会が限られる方も多数おられます。履修人数が多い科目は、授業方法を工夫し運営に努めます。

＜履修人数制限科目＞

「データ処理論」、「地理情報システム」、「情報処理」の3科目は、コンピュータを使用するため履修人数を制限します。各日程ともおおむね最大40人とし、受講希望者が多数の場合は、抽選により受講者を決定させていただきます。学年始めに履修届とあわせて提出いただく「スクーリング出席予定調査票」により、制限人数を超えた日程は、抽選により受講者を決定し通知致します。履修人数制限科目は、履修登録後に決定通知書でお知らせします日程でしか受講できません。ご自身のご都合による日程の変更はできません。

⑤スクーリング出席予定調査票

履修届の提出とあわせてスクーリング出席予定調査票を提出していただきます。この調査は、開講日程ごとのおおよその受講者数を把握し授業の運営方法等を検討することを目的としています。スクーリングの受講は、調査票の予定どおり受講手続きいただくようご協力をお願いします。

ただし、履修登録の段階では、数ヵ月先の日程となりますので、調査票の予定から実際に受講手続きされる日程を一部変更していただいても結構です。

履修人数制限科目（「データ処理論」、「地理情報システム」、「情報処理」）は、ご自身のご都合による日程の変更はできません。

※スクーリング出席予定調査票は、スクーリング受講申込書ではありません。履修登録されたスクーリング科目を受講するには、所定の申込期間内に到着するようスクーリング受講申込書を通信教育部事務室へ郵送（窓口提出可能）してください。

⑥卒業予定者および最終学年生のスクーリング最終受講期限について

卒業予定者および最終学年生に対しては、卒業判定・最終学年判定の時期に応じて、次のとおりスクーリングの最終受講期限が設けられています。最終受講期限後のスクーリングは、受講できませんのでご注意ください。この制約は、全てのスクーリング科目（教養科目、専門科目、自由選択科目）が対象です。

＜卒業予定者のスクーリング最終受講期限＞

2024年9月卒業予定者……………2024年8月23日～8月25日開講分

2025年3月卒業予定者……………2025年2月14日～2月16日開講分

2025年9月卒業予定者……………2025年8月22日～8月24日開講分

＜最終学年生のスクーリング最終受講期限＞

2024年9月末で在学期間が満期の方……………2024年8月23日～8月24日開講分

2025年3月末で在学期間が満期の方……………2025年2月14日～2月16日開講分

2025年9月末で在学期間が満期の方……………2025年8月22日～8月24日開講分

卒業予定者および最終学年生は、以下の方が該当します。

〈卒業予定者〉

- 1) すでに卒業論文を合格しており、今学年末の卒業に必要な単位数以上を履修登録されている方。

この条件に該当する方は、学年末まで卒業予定者から除外されることはありません。

- 2) 今学年に卒業論文を履修登録された方。

この条件に該当する方は、卒業論文計画書の未提出および不合格、卒業論文草稿の未提出および卒業論文提出不許可、卒業論文の未提出および不合格等と、今学年中に卒業論文（8単位）を単位修得することが不可能となった時点で、卒業予定者から除外され、学年末まで履修登録されたスクーリング科目の受講が可能になります。

〈最終学年生〉

最終学年生とは、本学通信教育部に在学できる最終の学年を迎えられた方のことです。

本学通信教育部では、1年次入学生の在学期間は16年、3年次編入学生の在学期間は10年と規定されています（『ハンドブック』P4参照）。

在学期間とは、**休学期間を除いて**本学通信教育部に在学できる期間（年数）のことです。

以下の1)又は2)の条件に該当される方が最終学年生です。

- 1) 1年次入学生で、在学期間が16年目の方（休学期間は除く）。
- 2) 3年次編入学生で、在学期間が10年目の方（休学期間は除く）。

4. スクーリング科目の履修登録

スクーリング科目を受講するには、毎学年始めに履修登録を行なわなければなりません。「10. 授業科目の内容」、開講日程等を参考に履修登録を行ってください。

履修登録の方法は、『ハンドブック』を参照してください。履修登録は、毎学年始めに当該学年（1年間）に履修する科目を登録します。**前学年に履修登録し、受講できなかった科目で、今学年に受講を希望するスクーリング科目は、改めて履修登録していませんと受講ができません。**

＜外国語科目について＞

英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲの**受講に、順序はありません**。例えば、英語Ⅲを最初に受講し、次に英語Ⅰを受講いただくことは可能です。

1年次入学生の場合、外国語の卒業要件は、4科目（英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、中国語）中、2科目の修得が条件です。受講科目の決定は、本冊子の「10. 授業科目の内容」および開講日程を参考にいただき、4科目から選択してください。

＜文化財学演習Ⅰ・Ⅱについて＞

文化財学演習Ⅰと文化財学演習Ⅱは、各科目とも2人の教員が担当し、それぞれ年5回開講します。文化財学演習Ⅰ・Ⅱを履修登録された方は、本冊子の「10. 授業科目の内容」および各担当教員の開講日程を確認の上、受講される日程をそれぞれ1つ選んでいただき、受講手続きを行ってください。**同一科目を複数の開講日程で受講することはできませんし、本冊子の「2. スクーリング受講の流れ」に記載のとおり、合格されたスクーリング科目は、再受講することはできません**。翌学年以降、履修登録することもできません。

文化財学演習Ⅰ・Ⅱを履修登録された方は、以上のことにご留意いただき、受講手続きを行ってください。

5. スクーリング受講手続き

履修登録されたスクーリング科目を受講するには、スクーリング受講申込書の提出とスクーリング授業料の納入というスクーリング受講手続きが必要です。

次の「①スクーリング受講手続きの日程」から順に読み進めてスクーリング受講手続きを行ってください。

※学年始めの履修登録だけではスクーリングを受講することはできません。

※学年始めに履修登録しなかったスクーリング科目は、当該学年中、スクーリングの受講ができません。

※学年途中に履修登録科目の追加、変更は一切できません。

①スクーリング受講手続きの日程

以下の日程表の活用方法については、次の1)～4)をご覧ください。

- 履修登録されたスクーリング科目について、受講を予定する開講日程を1つ選び、日程表の受講予定チェック欄に○印を記入してください。なお、同じ開講日程で複数の科目を受講することはできません。
- 印を記入した科目の申込期間を確認してください。スクーリング受講申込書は、この申込期間内に到着するよう通信教育部事務室へ郵送（窓口提出可能）してください。申込期間が重複している場合は、スクーリング受講申込書をまとめて郵送（窓口提出可能）していただいても結構です。
- 印を記入した科目の納入用紙発送日を確認してください。スクーリング授業料納入用紙は、開講日程ごとに定めた発送日に対象者全員へ斉送付します。早い時期にスクーリング受講申込書を郵送（窓口提出）されてもスクーリング授業料納入用紙の発送時期が早くなることはありませんのでご注意ください。納入用紙発送日から5日間が経過しても納入用紙が届かない場合は、通信教育部事務室まで電話で連絡してください。
- 印を記入した科目のスクーリング授業料納入期限を確認してください。送付した納入用紙を用いてスクーリング授業料を納入期限までに納入していただきますと、スクーリング受講手続き完了です。

受講予定 チェック欄	科 目 名	配当 年次	開 講 日 程	申 込 期 間	納入用紙発送日	スクーリング授業料 納 入 期 限
	社会学基礎	2～4	2024年8月2日(金) ～8月4日(日)	2024年6月24日(月) ～7月8日(月)	2024年 7月12日(金)	2024年 7月26日(金)
	情報処理					
	史学演習Ⅰ	3～4				
	文化財学演習Ⅱ(小林)					
	奈良文化論	1～4	2024年8月9日(金) ～8月11日(日)	2024年6月24日(月) ～7月16日(火)	2024年 7月19日(金)	2024年 8月2日(金)
	神話伝承論					
	経営学基礎(尾上)					
	データ処理論	2～4				
	文化財学演習Ⅰ(豊島)	3～4				
	文化財修復学					
	史学演習Ⅲ	4				
	文化財学演習Ⅲ					

受講予定 チェック欄	科 目 名	配当 年次	開 講 日 程	申 込 期 間	納入用紙発送日	スクーリング授業料 納 入 期 限
	仏教考古学	1～4	2024年8月23日(金) ～ 8月25日(日)	2024年6月24日(月) ～ 7月29日(月)	2024年 8月2日(金)	2024年 8月16日(金)
	文化財学演習Ⅰ(関根)	3～4				
	日本史特殊講義					
	地理情報システム(酒井)					
	奈良文化論	1～4	2024年8月30日(金) ～ 9月1日(日)	2024年6月24日(月) ～ 8月5日(月)	2024年 8月9日(金)	2024年 8月23日(金)
	心理学基礎	2～4				
	史学講読Ⅱ					
	文化財学演習Ⅱ(岩戸)	3～4				
	美術史特殊講義					
	臨床心理学					
	文化財学演習Ⅲ	4				
	英語Ⅰ	1～4	2024年9月6日(金) ～ 9月8日(日)	2024年6月24日(月) ～ 8月7日(水)	2024年 8月11日(日)	2024年 8月30日(金)
	中国語					
	神話伝承論					
	国際関係論Ⅳ	2～4				
	史学演習Ⅱ	3～4				
	文化財学演習Ⅰ(豊島)					
	歴史地理学					
	文化財修復学					
	仏教考古学	1～4	2024年9月13日(金) ～ 9月15日(日)	2024年6月24日(月) ～ 8月19日(月)	2024年 8月23日(金)	2024年 9月6日(金)
	文化財学講読Ⅱ	2～4				
	文化財学演習Ⅱ(小林)	3～4				
	日本史特殊講義					
	考古学特殊講義					
	英語Ⅲ	1～4	2025年2月7日(金) ～ 2月9日(日)	2024年12月16日(月) ～ 2025年1月14日(火)	2025年 1月17日(金)	2025年 1月31日(金)
	奈良文化論					
	データ処理論	2～4				
	文化財学講読Ⅱ					
	社会学基礎					
	史学演習Ⅰ	3～4				
	文化財学演習Ⅱ(小林)					
	文化財修復学					
	英語Ⅱ	1～4	2025年2月14日(金) ～ 2月16日(日)	2024年12月16日(月) ～ 2025年1月20日(月)	2025年 1月24日(金)	2025年 2月7日(金)
	神話伝承論					
	史学講読Ⅱ					
	文化財学演習Ⅰ(豊島)	3～4				
	文化財学演習Ⅱ(岩戸)					
	美術史特殊講義					
	地理情報システム(芝田)					
	史学演習Ⅲ	4				
	文化財学演習Ⅲ					
	仏教考古学	1～4	2025年2月21日(金) ～ 2月23日(日)	2024年12月16日(月) ～ 2025年1月27日(月)	2025年 1月31日(金)	2025年 2月14日(金)
	国際関係論Ⅳ	2～4				
	史学演習Ⅱ	3～4				
	文化財学演習Ⅰ(関根)					
	考古学特殊講義					
	歴史地理学					
	臨床心理学					

受講予定 チェック欄	科 目 名	配当 年次	開 講 日 程	申 込 期 間	納入用紙発送日	スクーリング授業料 納 入 期 限						
	中国語	1～4	2025年3月7日(金) ～ 3月9日(日)	2024年12月16日(月) ～ 2025年2月10日(月)	2025年 2月14日(金)	2025年 2月28日(金)						
	心理学基礎											
	経営学基礎											
	文化財学講読Ⅱ	2～4										
	情報処理											
	日本史特殊講義	3～4										
	考古学特殊講義											
	美術史特殊講義											
	歴史地理学											

②スクーリング受講申込書の提出

履修登録されたスクーリング科目について、受講を予定する開講日程が決まれば、スクーリング受講申込書を開講日程ごとに定められた申込期間内に到着するよう通信教育部事務室へ郵送（窓口提出可能）してください。

スクーリング受講申込書は、本冊子巻末に掲載していますので、そちらをコピーしていただき、必要事項を記入し、所定のスクーリング受講申込書送付用封筒に入れて、封筒に84円切手を貼り、通信教育部事務室へ郵送（窓口提出可能）してください。

次の1)～7)にスクーリング受講申込書の提出に関する注意事項を記載していますのでご確認ください。

- 1) 学年始めに履修届とあわせて提出していただくスクーリング出席予定調査票は、スクーリング受講申込書ではありません。
- 2) スクーリング受講申込書は、本冊子巻末の様式をコピーして使用してください。過去の『スクーリングガイド』の様式は、使用しないでください。
- 3) 毎学年始めのテキスト配本時に在学生全員（休学者は除く）にレポート用紙などと一緒にスクーリング受講申込書送付用封筒10枚を送付します。学年途中で不足する場合は、通信教育部事務室へ連絡してください。必要枚数を送付します。その際、費用はいただきません。
- 4) 通信教育部事務室の受付対応可能な日時であれば、スクーリング受講申込書を事務室窓口へ提出することも可能です。
- 5) 申込期間は最終日必着です。申込期間後に通信教育部事務室に到着したスクーリング受講申込書は受け付けできません。
- 6) スクーリング受講時に、学生割引証が必要な方は、スクーリング受講申込書に学生割引証発行願を同封してください。学生割引証発行願のみを郵送されても学生割引証は発行できません。なお、スクーリング授業料納入用紙は、納入用紙発送日の送付になりますが、学生割引証は、学生割引証発行願が通信教育部事務室に到着後、速やかに送付します。
- 7) 申込期間が異なりますので、スクーリング放課後の科目修得試験受験申込書は、スクーリング受講申込書に同封しないでください。

③スクーリング授業料の納入

申込期間内に受け付けたスクーリング受講申込書の提出者には、開講日程ごとに定めた納入用紙発送日にスクーリング授業料納入用紙を一斉送付します。**早い時期にスクーリング受講申込書を郵送（窓口提出）されてもスクーリング授業料納入用紙の発送時期が早くなることはありませんのでご注意ください。納入用紙発送日から5日間が経過しても納入用紙が届かない場合は、通信教育部事務室まで電話で連絡してください。**

お手元に届いたスクーリング授業料納入用紙により、開講日程ごとに定めた納入期限までにスクーリング授業料を指定のコンビニエンスストア又は郵便局から納入していただきますとスクーリング受講手続き完了です。

次の1)～6)にスクーリング授業料の納入に関係する注意事項を記載していますのでご確認ください。

- 1) **スクーリング授業料の納入後、通信教育部事務室から納入を確認した旨の連絡等は行っておりません。（払込受領書を保管しておいてください。）**
- 2) 納入期限後にスクーリング授業料を納入されても受講できません。
- 3) スクーリング授業料をコンビニエンスストアから納入していただきますと納入確認が迅速（原則翌日）に行えます。郵便局から納入された場合、納入確認に数日間を要することがあります。
- 4) スクーリング授業料納入用紙の送料は、通信教育部が負担しています。スクーリング受講申込書の郵送時に、納入用紙送付用の切手を同封していただく必要はありません。
- 5) スクーリング授業料納入用紙には、科目ごとのスクーリング実施要項を同封しています。スクーリング実施要項にて事前学習の内容等を確認してください。また、スクーリング放課後の科目修得試験受験の可否も記載していますので、受験可能日を確認後、希望する場合は、スクーリング放課後の科目修得試験受講申込書を所定の送付用封筒に入れて通信教育部事務室へ郵送（窓口提出可能）してください。
- 6) スクーリング授業料納入用紙には、授業料を納入するのに必要な情報を全て印字していますので、何も記入しないでください。記入された場合、納入ができなくなる場合があります。また、大学から送付の納入用紙以外の方法では入金しないでください。

④学外スクーリングについて

学外において授業を行うスクーリング科目もあります。実施場所などの詳細は、スクーリング授業料納入用紙送付時に同封の科目ごとのスクーリング実施要項にて確認してください。

⑤スクーリングの欠席およびスクーリング授業料の返金手続きについて

諸事情により受講手続きが完了したスクーリング科目を3日間とも欠席（受講辞退）される場合、納入された当該スクーリング授業料は、所定の手続きを経て、全額返金します。手続き方法は、次の1)～4)をご覧ください。

- 1) 事前に電話等で通信教育部事務室へ3日間とも欠席（受講辞退）される旨をご連絡ください。**欠席連絡後、事情の変化で欠席確定となった当該スクーリング科目を受講されたい旨のお申し出がありましても対応ができません。別の開講日程で受講願います。**
- 2) 本冊子巻末に掲載のスクーリング授業料返金願をコピーしていただき、必要事項を記入の上、通信教育部事務室へ郵送（窓口提出可能）してください。（FAXは不可）
- 3) **スクーリング授業料返金願の到着から約1ヶ月後に振込により当該スクーリング授業料の全額を返金します。**なお、スクーリング授業料返金願を未提出の場合、返金手続きが行えませんのでご注意ください。
- 4) 欠席された科目のスクーリング授業料を以後のスクーリング受講時の授業料に充当することはできません。

⑥スクーリング科目のテキストについて

スクーリング科目の中で、各担当教員が指定する**テキストは、大学が提供します**。ただし、お渡しできるのは、スクーリング初日の朝となりますのでご了承ください。

テキスト指定のない科目は、開講時にプリント等を配布します。なお、本冊子に参考書として掲載している書籍は、提供しませんので、必要に応じてご自身で購入してください。

⑦学外スクーリング受講時の注意事項

- 1) 学外スクーリングでは、F M電波を利用して教員の声を送信する場合があります。この場合、シンセチューニングができる携帯型F Mラジオを持参してください。ラジオが必要な場合は、事前にスクーリング実施要項でその旨を記載します。ラジオは持ち歩きますので、胸ポケットに入るくらいの大きさで、軽くて、イヤホン付きのタイプが便利かと思えます。F Mラジオの操作方法是、各自で事前によく確認しておいてください。

＜シンセチューニングができるF Mラジオとは＞

〇〇．〇 MHzと周波数を数字で表示でき、通常、ボタンを操作して選局するタイプのF Mラジオです。学外授業で使用する場合、授業時に「今回は、F Mラジオの周波数を〇〇．〇 MHzにあわせてください。」という案内をします。

- 2) 学外スクーリングでは、昼食を食堂・レストラン等で摂っていただくことが難しいと思われれます。昼食は、弁当等を各自、用意してください。
- 3) 服装は、身動きのし易い服装にしてください。靴は、運動靴等、靴底が平らなものを履くようにしてください。(歩く時間が長い授業もあります。履き慣れた靴が良いでしょう。)
- 4) 夏期スクーリングでは、帽子・タオルを必ず用意してください。また、各自でお茶などの飲み物を用意して、熱中症等に注意してください。
- 5) 冬期スクーリングでは、防寒対策を各自でお考えください。体を温める飲み物などをご用意いただくと良いと思います。
- 6) 荷物は、小さく、軽量にまとめるよう工夫してください。荷物はリュックサックに入れば、両手が使え、メモを取り易いと思います。(メモが取り易いようにクリップボードなどを用意されると便利でしょう。)
- 7) 天候が急変する場合がありますので、雨具は必ず携帯してください。
- 8) 緊急時は、通信教育部事務室へ連絡してください。(TEL：0742-41-9564)

6. 緊急時の授業等の取り扱い

スクーリングの開講日や科目修得試験実施日に、天候不良により臨時休講となる場合があります。以下の条件により臨時休講となりますので各自で判断し、適切に行動してください。

なお、**公共交通機関の不通(運休や復旧の見通しがたたない運転見合わせを含む。)**等により、**通学不能又は通学困難、あるいは授業等困難と学長が判断した場合は、臨時休講とすることがあります。**(緊急時は、奈良大学通信教育部のホームページをご確認ください。)

①気象警報による休講

＜気象警報の発令地域について＞

【スクーリングの休講及び科目修得試験が中止となる気象警報の地域】

I. 奈良市になんらかの特別警報が発令の場合

<注意>

特別警報が都道府県単位で発令される場合は「奈良県」となります。

II. 奈良市に暴風警報が発令の場合

<注意>

報道機関からは「奈良県北西部」と発表されることがありますが、奈良市を含まない場合は休講・中止にはなりません。

※例えば、奈良県北西部の橿原市・香芝市のみに暴風警報が発令された場合は、スクーリング及び科目修得試験は実施します。

※緊急時は、奈良大学通信教育部のホームページ（<https://tsushin.nara-u.ac.jp/>）に授業の開講状況や科目修得試験の開催状況等のお知らせを掲載致します。

緊急時、閲覧可能でしたら、奈良大学通信教育部のホームページをご確認ください。

※特別警報への対応に変更等があった場合は、奈良大学通信教育部ホームページ等でお知らせします。

<スクーリング>

1) 緊急時におけるスクーリングの取り扱い方針

スクーリング（3日間）の一部が休講となった場合でも、状況に応じて授業内容の変更、講義資料の追加配布、学習課題の提示等の工夫を行うことにより授業を成立させ、成績評価を行います。

学生の皆様には、各自の諸事情を調整の上、スクーリングに出席していただいております。また、遠方からお越しいただいている方も多数おられます。休講分の振替（補講）授業を全く別の日程で行うことは困難です。

緊急時は、予定の授業計画が一部変更となりますが、学生の皆様の安全確保を第一に考え、こうした方針としていますので、ご理解をお願いします。

2) スクーリング1日目の対応

スクーリング1日目の朝に休講措置が発生した場合は、教室で対応を説明することができませんので、事前に以下の対応内容を充分にご確認願います。

- (1) 午前8時（授業開始の2時間前）現在、奈良市になんらかの特別警報または暴風警報発令中の場合は、午前の授業が休講になります。大雨警報や洪水警報の発令では休講になりません。

その後、午前11時現在、依然として奈良市になんらかの特別警報または暴風警報発令中の場合は、午後の授業も含め全日休講になります。

ただし午前11時現在、警報が解除されている場合は、午後1時から授業を開始します。終了時間は予定どおり午後3時50分です。

- (2) 午前8時現在で奈良市になんらかの特別警報または暴風警報が発令されておらず、午前8時を過ぎてから授業終了（午後3時50分）までの間に、なんらかの特別警報または暴風警報が発令された場合は、発令された時点で授業は休講になります。発令後、学内一斉放送、教室への個別説明、説明資料の配布等の手段により休講措置の周知徹底を図ります。

極端な想定として、午前8時を過ぎてから授業開始（午前10時）までになんらか

の特別警報または暴風警報が発令された場合、午前の授業が休講になりますが、午後の授業の実施は、午前11時現在の警報の有無によって決まります。すでに学内に来られている方へは、学内一斉放送、教室への個別説明、説明資料の配布等の手段により休講措置の周知徹底を図ります。

ただし、来校途上で警報の発令を知られた方は、安全な場所に避難され、午前11時現在の警報の有無を奈良地方気象台の気象情報（TEL：0742-177）等によってご確認ください。

<補足説明>

- 気象情報の確認は、各自でテレビ、ラジオ、インターネット等によりご確認願います。なお、奈良地方気象台の気象情報（TEL：0742-177）は、携帯電話からでも確認することが可能です。
- 気象状況等により授業の開始時間までに来校できない場合は、来校された時間から授業に出席してください。ただし、危険が伴う場合は、各自の判断で出欠を決定してください。
- スクーリングの一部が休講となった場合、学外授業を予定している科目は、学外授業の中止及び内容を変更する場合があります。

3) スクーリング1日目が全日休講となった場合のスクーリング2日目の対応

スクーリング1日目が全日休講の場合、スクーリング2日目は、大学に朝10時までに集合してください。スクーリング2日目に学外授業を予定（現地集合の科目も含む）している科目についても同様に朝10時までに大学に集合してください。

4) スクーリング2日目、3日目の対応（スクーリング1日目実施の場合）

2日目又は3日目に台風の接近が予想される場合、その前日の授業中に翌日以降の授業運営について、学内一斉放送、教室への個別説明、説明資料の配布等の手段により対応内容の周知徹底を図ります。

<科目修得試験>

《本学会場》

原則として出席者がいる場合は、試験を実施します。ただし、危険を伴う場合がありますので、各自で判断し出欠を決定してください。受験の機会は複数回ありますので、各自で十分判断して行動してください。また、本学の判断により、試験の実施を中止する場合があります。

なお、緊急時は、奈良大学通信教育部ホームページに試験の実施状況等のお知らせを掲載します。緊急時、閲覧可能でしたら奈良大学通信教育部ホームページをご確認ください。状況確認の為、通信教育部事務室（直通電話：0742-41-9564）へお電話いただいても結構です。

《学外会場》

原則として出席者がいる場合は、試験を実施します。ただし、危険を伴う場合がありますので、各自で判断し出欠を決定してください。また、本学の判断により、試験の実施を中止する場合があります。

なお、緊急時は、奈良大学通信教育部ホームページに試験の実施状況等のお知らせを掲載します。緊急時、閲覧可能でしたら奈良大学通信教育部ホームページをご確認ください。

《スクーリング放課後の科目修得試験の対応》

1) スクーリングの休講条件

スクーリングは、午前8時（授業開始の2時間前）現在、奈良市になんらかの特別警報または暴風警報発令中の場合は、午前の授業が休講になります。大雨警報や洪水警報の発令では休講になりません。その後、午前11時現在、依然としてなんらかの特別警報または暴風警報発令中の場合は、午後の授業も含め全日休講となります。午前8時を過ぎてから授業終了（午後3時50分）までの間に、なんらかの特別警報または暴風警報が発令された場合は、発令された時点で授業は休講になります。

午後の授業の実施は、午前11時現在の警報の有無によって決まります。午前11時現在、警報が解除されている場合は、午後1時から授業を開始します。

2) スクーリング休講時の科目修得試験の対応

スクーリングが全日休講、又は午後の授業が休講（授業開始後に警報発令の場合も含む）の場合、科目修得試験も中止になります。その後、休講が決定した後に警報が解除されても、科目修得試験は実施しませんので、ご注意ください。

なお、スクーリングが実施された場合でも、科目修得試験の開始時間までに、奈良市になんらかの特別警報または暴風警報が発令された場合、科目修得試験は中止になります。スクーリングを受講されずに科目修得試験のみを受験される方も、以上の内容により試験実施の有無を決定しますので、来校いただいても警報の発令状況により、科目修得試験が中止となる場合があります。学生の皆様の安全確保が第一です。ご理解をお願いします。

(1) 中止になった科目修得試験の振替手続きの概要

スクーリングの1日目又は2日目の科目修得試験が中止と確定した場合、希望される方は、受験予定であった科目を以下の条件において当該スクーリング期間中の別の受験時限（2日目又は3日目）に振り替えることができます。（振替手続き方法は、以降の（2）、（3）に記載）

なお、振替手続きは強制ではありません。中止によって受験できなかった科目を次のスクーリング放課後などに、あらためて受験申込みを行った上で受験されるということでも結構です。振替手続きを行わない方は、通信教育部事務室へご連絡していただく必要はありません。

※科目修得試験が中止と確定した後から振替可能になります。中止が確定する前にご自身のご判断での振替はできません。

※スクーリング3日目の科目修得試験が中止となった場合、振替手続きはできません。

(2) スクーリング1日目の科目修得試験が中止になった場合

スクーリング2日目又は3日目の科目修得試験の各自の受験科目が入っていない時限に中止によって受験できなかった科目のみ振替可能です。すでに受験科目が入っている時限に入れ替えることはできません。

◆振替手続きの受付時間と電話連絡先◆

科目修得試験が中止と確定した後、当日の午後6時までの間に電話連絡により受け付けします。連絡先は、奈良大学通信教育部事務室（直通電話：0742-41-9564）です。学生の危険回避の為に試験を中止しますので、窓口で対応することは致しません。

(3) スクーリング2日目の科目修得試験が中止になった場合

スクーリング3日目の科目修得試験の各自の受験科目が入っていない時限に中止に

よって受験できなかった科目のみ振替可能です。すでに受験科目が入っている時限に入れ替えることはできません。

◆振替手続きの受付時間と電話連絡先◆

科目修得試験が中止と確定した後、当日の午後6時までの間に電話連絡により受け付けします。連絡先は、奈良大学通信教育部事務室（直通電話：0742-41-9564）です。学生の危険回避の為に試験を中止しますので、窓口で対応することは致しません。

（４） 振替受験票の受け渡し

スクーリングを受講されている方は、受験される日の午後の授業開始までに学生証を持参の上、通信教育部事務室へ受け取りに来てください。また、科目修得試験のみ受験の方は、試験開始までに受け取りに来てください。

②公共交通機関の遅延の場合

※公共交通機関の遅延の場合は、可能な限り公共交通機関運営会社発行の遅延証明書を持参してください。

※私的な事由（自動車通学による交通事情、渋滞等を含む）は含みません。

＜スクーリング＞

奈良大学で授業の場合は、出席可能な時間から出席し、担当教員にその旨を申し出てください。出席が不可能な場合は、通信教育部事務室まで連絡してください。

学外の授業で、集合時間に集合場所まで行けない場合は、通信教育部事務室まで連絡してください。その後の合流場所・時間などの連絡をします。

＜科目修得試験＞

《本学会場》

通常の時間割で試験を実施します。受験予定時限に遅れた場合は、通信教育部事務室に申し出てください。時限を変更して受験可能な場合は、受験していただきます。

《学外会場》

通常の時間割で試験を実施します。受験予定時限に遅れた場合は、試験監督者に申し出てください。時限を変更して受験可能な場合は、受験していただきます。

7. スクーリング放課後の科目修得試験

科目修得試験とは、テキスト科目の最終試験のことを指します。本学においてスクーリング開講日の放課後を利用して、16:20～18:10の間に2科目分を実施する科目修得試験を「スクーリング放課後の科目修得試験」と言います。ここでは、スクーリング放課後の科目修得試験の申込方法などについて説明します。

なお、科目修得試験の実施方法等の詳細は、『ハンドブック』をご覧ください。

①受験までの流れ

- 1) P22の「スクーリング放課後の科目修得試験開催日程」をご覧ください。受験希望日、希望時限を決めてください。申込期間は、スクーリング開講日初日の2週間前から4日前（必着）としています。受験希望日にスクーリングを受講予定の場合は、スクーリング実施要項の到着後、受験希望日が学外授業等の為に受験不可となっていないかを確認してください

い。

※受験希望日にスクーリングを受講予定で、さらに受験希望日が学外授業実施日の場合は、試験開始時間までに大学に戻れない為、スクーリング放課後の科目修得試験は原則受験することができません。

※申込期間は、スクーリング実施要項で受験可能日を確認後に受験申込みができるよう期間を設定しています。この為、**スクーリング受講申込書の郵送（窓口提出）時に、スクーリング放課後の科目修得試験受験申込書は同封しないでください。**

※スクーリングを受講しない方も、スクーリング放課後の科目修得試験を受験することは可能です。

※スクーリング放課後の科目修得試験は、全て奈良大学通信教育部棟2階講義室で実施します。

- 2) 本冊子巻末のスクーリング放課後の科目修得試験受験申込書（以下、「S放課後受験申込書」という。）とスクーリング放課後の科目修得試験受験許可書（以下、「S放課後受験許可書」という。）をコピーして、必要事項を記入し、送付用封筒（84円切手を貼付）に入れて通信教育部事務室へ所定の申込期間内に到着するよう郵送（窓口提出可能）してください。

※S放課後受験申込書の記入については、レポート返送時の同封文書の記入例を参照してください。

※S放課後受験申込書とS放課後受験許可書は切り離さず、**両方に必要事項を記入して**郵送（窓口提出可能）してください。

※申込期間後に到着したS放課後受験申込書は受け付けできません。

※受験時に学生割引証が必要な方は、S放課後受験申込書と一緒に学生割引証発行願を郵送（窓口提出可能）してください。ただし、スクーリング受講申込書を郵送（窓口提出）した際、すでに学生割引証発行願を同封済みの方は不要です。

※S放課後受験申込書は、受付対応可能日時であれば通信教育部事務室に持参されても受付可能です。

※1日に2科目受験する場合は、必ず1枚のS放課後受験申込書にまとめて記入してください。1日で最大2科目の受験が可能です。

※スクーリング放課後の科目修得試験の受験料は、学費に含まれています。

※S放課後受験申込書を郵送（窓口提出）後、受験科目の追加や変更、受験時限の変更、受験日の変更をしたい場合は、再度、S放課後受験申込書に必要事項を記入し、申込期間内に到着するよう郵送（窓口提出可能）してください。電話ではこうした手続きへの対応ができません。

- 3) 通信教育部事務室では、到着したS放課後受験申込書の記入内容等を確認し、座席番号等を記載したシールを貼り付けたS放課後受験許可書を試験の当日まで事務室で保管します。**S放課後受験許可書は、返送しませんのでご注意ください。S放課後受験許可書は、当該スクーリング開講日の初日から試験当日までの間に、通信教育部事務室窓口で学生証を呈示して受け取ってください。**

- 4) 試験会場にはS放課後受験許可書、学生証、最新の『設題集』、筆記具等を持参してください。

※受験までに『設題集』で実施方法、注意事項、設題内容等を確認しておいてください。

- 5) 試験会場の机の上に、座席番号札を置いています。S放課後受験許可書の座席番号と同じ番号の席に着席して受験してください。

②スクーリング放課後の科目修得試験の時間割

5 限目 16:20～17:10 (50分間)

6 限目 17:20～18:10 (50分間)

※ 1 日で最大 2 科目受験可能

③卒業予定者および最終学年生の科目修得試験最終受験期限について

卒業予定者および最終学年生に対しては、卒業判定・最終学年判定の時期に応じて、次のとおり科目修得試験の最終受験期限が設けられています。最終受験期限後の科目修得試験は、受験できませんのでご注意ください。この制約は、全てのテキスト科目（教養科目、専門科目、自由選択科目、博物館学芸員資格科目）が対象です。

＜卒業予定者の科目修得試験最終受験期限＞

2024年9月卒業予定者……………2024年7月末日

2025年3月卒業予定者……………2025年1月末日

2025年9月卒業予定者……………2025年7月末日

＜最終学年生の科目修得試験最終受験期限＞

2024年9月末で在学期間が満期の方……………2024年7月末日

2025年3月末で在学期間が満期の方……………2025年1月末日

2025年9月末で在学期間が満期の方……………2025年7月末日

卒業予定者および最終学年生は、以下の方が該当します。

＜卒業予定者＞

- 1) すでに卒業論文が合格しており、今学年末の卒業に必要な単位数以上を履修登録されている方。

この条件に該当する方は、学年末まで卒業予定者から除外されることはありません。

- 2) 今学年に卒業論文を履修登録された方。

この条件に該当する方は、卒業論文計画書の未提出および不合格、卒業論文草稿の未提出および卒業論文提出不許可、卒業論文の未提出および不合格等と、今学年中に卒業論文（8単位）を単位修得することが不可能となった時点で、卒業予定者から除外され、学年末まで科目修得試験の受験が可能になります。

＜最終学年生＞

最終学年生とは、本学通信教育部に在学できる最終の学年を迎えられた方のことです。

本学通信教育部では、1年次入学生 of 在学期間は16年、3年次編入学生の在学期間は10年と規定されています（『ハンドブック』P4参照）。

在学期間とは、**休学期間を除いて**本学通信教育部に在学できる期間（年数）のことです。

以下の1)又は2)の条件に該当される方が最終学年生です。

- 1) 1年次入学生で、在学期間が16年目の方（休学期間は除く）。
- 2) 3年次編入学生で、在学期間が10年目の方（休学期間は除く）。

④成績通知

スクーリング放課後の科目修得試験の成績は、**受験日の約1ヶ月後に点数を郵送で通知します**。答案用紙は、返却しません。電話や窓口で点数、可否をお知らせすることはできません。

送付します成績通知書にて確認してください。

成績が60点以上の科目は合格です。この場合、学年末に今学年の修得単位として認定します。

成績が59点以下の科目は不合格です。この場合、所定の試験日程から都合の良い日程を選択し再受験申込みをしてください。

なお、**成績通知書にて不合格が確定する前に、ご自身の判断による再受験申込みはできません。**間違った出題番号、問題内容、受験科目で解答した場合は無効ですが、この場合も受験日の約1ヶ月後に郵送します成績通知書で無効と確定するまでは、当該科目の再受験申込みはできません。また、合格された科目は、再受験することはできません。翌学年以降、履修登録することもできません。

⑤スクーリング放課後の科目修得試験開催日程（2024年度）

	試 験 日	申 込 期 間
2024年	8月2日(金)～8月4日(日)	7月19日(金)～7月29日(月)
	8月9日(金)～8月11日(日)	7月26日(金)～8月5日(月)
	8月23日(金)～8月25日(日)	8月9日(金)～8月19日(月)
	8月30日(金)～9月1日(日)	8月16日(金)～8月26日(月)
	9月6日(金)～9月8日(日)	8月23日(金)～9月2日(月)
	9月13日(金)～9月15日(日)	8月30日(金)～9月9日(月)
2025年	2月7日(金)～2月9日(日)	1月24日(金)～2月3日(月)
	2月14日(金)～2月16日(日)	1月31日(金)～2月10日(月)
	2月21日(金)～2月23日(日)	2月7日(金)～2月17日(月)
	3月7日(金)～3月9日(日)	2月21日(金)～3月3日(月)

※申込期間は最終日必着です。申込期間後に到着した受験申込書は受け付けできません。

※スクーリング放課後の科目修得試験は、全て奈良大学通信教育部棟2階講義室で実施します。

※スクーリング放課後の科目修得試験の詳細は、本冊子P19～22及び『ハンドブック』

P42～43を参照してください。

8. 宿泊関係

①宿泊施設

スクーリングの際に宿泊を伴う場合は、**受講生各自で宿泊先の確保**をお願いします。海外からの旅行者の増加などの理由で、奈良県内の宿泊施設の確保が難しい時期もあるようですので、お早めに宿泊先の確保をしていただくことをお勧めします。大学では、ホテル等の宿泊施設との提携・契約は一切しておりません。『スクーリングガイド』（P25）に記載しておりますホテルは、旅行代理店からの紹介の宿泊施設です。便宜上、『スクーリングガイド』にあわせて掲載しております。

②旅行代理店への申込み

宿泊先は、受講生各自で確保していただくことが原則です。不慣れな土地での宿泊先確保に苦慮される場合は、旅行代理店を紹介しておりますのでご利用ください。ただし、手数料等の費用が発生します。インターネットや電話等で直接予約いただいたほうが安価な場合があります。また、宿泊先の決定までに多少時間を要します。このような諸条件をご理解いただきご利用ください。

希望される宿泊先の条件・内容は千差万別ですので、紹介宿泊先が希望にそぐわない場合があります。事前に諸条件を確認のうえ、手続きを行ってください。申込方法は、次のとおりです。

1. 申し込み方法

- 1) 受講生の宿泊は、東武トップツアーズ(株)奈良支店が企画・実施する『手配旅行』です。
- 2) 巻末の『宿泊申込用紙』に必要事項をご記入の上、FAX（又は、郵送）にてお申し込みください。電話での予約は受け付け致しません。FAXは、休業日でもお送りいただけます。
- 3) お申し込み後、『予約確認書（宿泊券）』、『請求書』、『振込用紙』をお送り致します。
開講日1ヶ月以上前にお申し込みの方へは、ご宿泊の1ヶ月前を目途にお送りいたします。
開講日1ヶ月をきってからお申し込みの方へは、ご宿泊の2週間前を目途にお送りいたします。
なお予約がお取りできない場合は、事前にご連絡させていただきます。
- 4) お申し込みは、開講日の3週間前までお受けいたします。
- 5) 予約確認書にて予約内容をご確認の上、請求書到着後1週間以内にお振込みください。
- 6) 宿泊当日は、宿泊施設のフロントに『予約確認書（宿泊券）』をご提出ください。

＜宿泊申込先＞

東武トップツアーズ株式会社 奈良支店 奈良大学通信教育部スクーリングの宿 係
〒630-8115 奈良県奈良市大宮町6-2-19 東京海上日動ビル2階
TEL：050-9001-6307 FAX：0742-32-1172
営業日・営業時間： 月～金曜日 10:00～17:00
休業日： 土曜・日曜・祝日及び、12月29日～1月4日

《宿泊申込締切期日》

開講No	スクーリング開講日程	宿泊申込締切期日（必着のこと）
1	2024年8月2日(金)～ 8月4日(日)	2024年7月12日(金)
2	2024年8月9日(金)～ 8月11日(日)	2024年7月19日(金)
3	2024年8月23日(金)～ 8月25日(日)	2024年8月2日(金)
4	2024年8月30日(金)～ 9月1日(日)	2024年8月9日(金)
5	2024年9月6日(金)～ 9月8日(日)	2024年8月16日(金)
6	2024年9月13日(金)～ 9月15日(日)	2024年8月23日(金)
7	2025年2月7日(金)～ 2月9日(日)	2025年1月17日(金)
8	2025年2月14日(金)～ 2月16日(日)	2025年1月24日(金)
9	2025年2月21日(金)～ 2月23日(日)	2025年1月31日(金)
10	2025年3月7日(金)～ 3月9日(日)	2025年2月14日(金)

2. 受付について

原則、先着順とさせていただきます。

ただし、受付は2024年6月3日（月）から開始致します。

（※受付開始前にお送り頂いたものは無効とさせていただきます。）

3. 取消・変更について

お申込頂いた後、お客様のご都合により取消・変更が発生した場合は、取消料や変更（事務）手数料が発生致します。

詳しくは、（5. 取消・変更料金の案内）をご確認ください。

4. 宿泊案内

★お部屋は、すべてシングルルームのご利用です。

申込記号	食事内容	お一人様料金	利用ホテル名	所在地
A-1	1泊朝食付	13,000円	ホテル尾花 (全館禁煙／喫煙無し)	近鉄奈良駅より徒歩約10分
B-1	1泊朝食付	10,000円	ホテル ^{ハーフタイム} 葉風泰夢	近鉄新大宮駅より徒歩約3分

◎上記料金はお一人様当たり、1泊朝食付の価格です。サービス料・税金も含んでおります。

◎各ホテルとも受付順にて、満員になり次第締め切らせて頂きます。

★上記宿泊料金以外に、

手配手数料として、お一人様ご回答1件につき@1,100円を別途頂戴致します。

ご回答後の取消変更の場合、手配手数料の返金はありません。

5. 取消・変更料金の案内

※宿泊日前日より起算してさかのぼって、下記の日にかあたる日から取消料金を申し受けます。

取消料金の発生日以降の変更についても、取消料金の対象となりますので、あらかじめご了承ください。

取消料金は、取消日ごとに、宿泊日前日より起算して1泊あたりで算出致します。

なお、取消日とは、弊社営業日、営業時間内に取消のご連絡を頂いた日と致します。

休業日、営業時間外にご連絡いただいた場合は、翌営業日を取消日とさせていただきます。

取消時にご入金済みの場合は、取消料金と手配手数料を差し引いた金額をご返金致します。

未入金の場合は、取消料金と手配手数料のご請求を致しますので、あらかじめご了承ください。

※8月8日宿泊から8月18日宿泊までの期間は、取消料金対象日が異なります。

お気を付け頂きますようお願い致します。

【取消料金の発生日と取消料率について】

・ 予約回答後、21日目までの取消	取消料不要	+ 手配手数料@1,100円
・ 20日目から4日目までの取消	500円	+ 手配手数料@1,100円
・ 3日目から前日までの取消	宿泊代金の20%	+ 手配手数料@1,100円
・ 宿泊当日 12時までの取消	宿泊代金の50%	+ 手配手数料@1,100円
・ 宿泊当日 12時以降の取消	宿泊代金の100%	+ 手配手数料@1,100円

※8月8日宿泊から8月18日宿泊の期間

・ 予約回答後、21日目までの取消	取消料不要	+ 手配手数料@1,100円
・ 20日目から8日目までの取消	宿泊代金の20%	+ 手配手数料@1,100円
・ 7日目から2日目までの取消	宿泊代金の30%	+ 手配手数料@1,100円
・ 宿泊前日の取消	宿泊代金の40%	+ 手配手数料@1,100円
・ 宿泊当日 12時までの取消	宿泊代金の50%	+ 手配手数料@1,100円
・ 宿泊当日 12時以降の取消	宿泊代金の100%	+ 手配手数料@1,100円

例)

- ① 8／9 宿泊分を、7／19 に取消した場合は、
前日 8／8 より起算して 21 日目にあたるため、取消料は不要（無料）ただし、手配手数料 @ 1,100 円は必要です。
- ② 8／9 宿泊分を、7／23 に取消した場合は、
前日 8／8 より起算して 17 日目にあたるため、取消料（宿泊代金 20%）+ 手配手数料 @ 1,100 円

6. 宿泊施設の案内

A. ホテル尾花

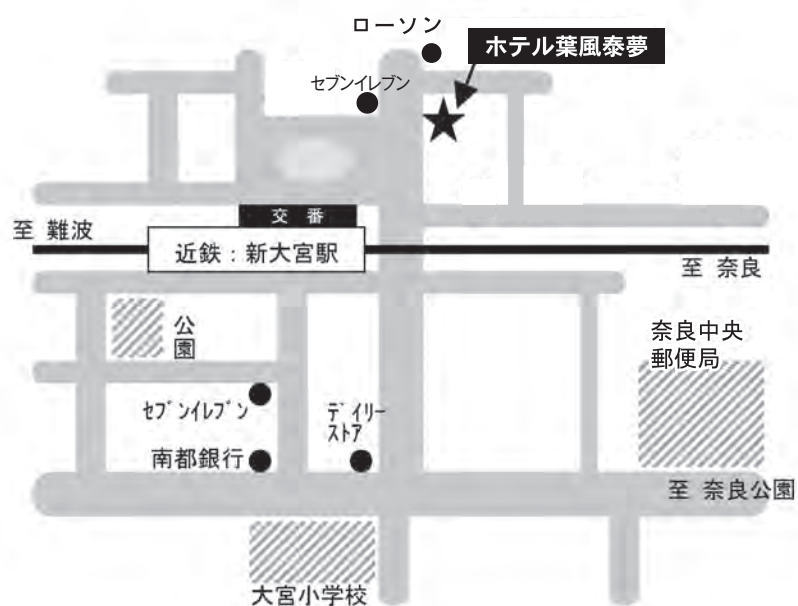
- 特 徴 機能的で充実した客室設備とアットホームなおもてなし。奈良公園への散歩に最適
- アクセス 近鉄奈良駅より徒歩約10分、奈良大学までの所要時間は、約45分
【コンビニエンスストア、ホテル近くに2軒あり。徒歩3～5分】
- 客 室 ユニットバス、トイレ、TV、ドライヤー、冷蔵庫、電話、電気ケトル、空気清浄機（電気スタンドは、貸出可能）
- 朝 食 7：00～10：00（和洋バイキング）
- 所 在 地 〒630-8301
奈良市高畑町 1110



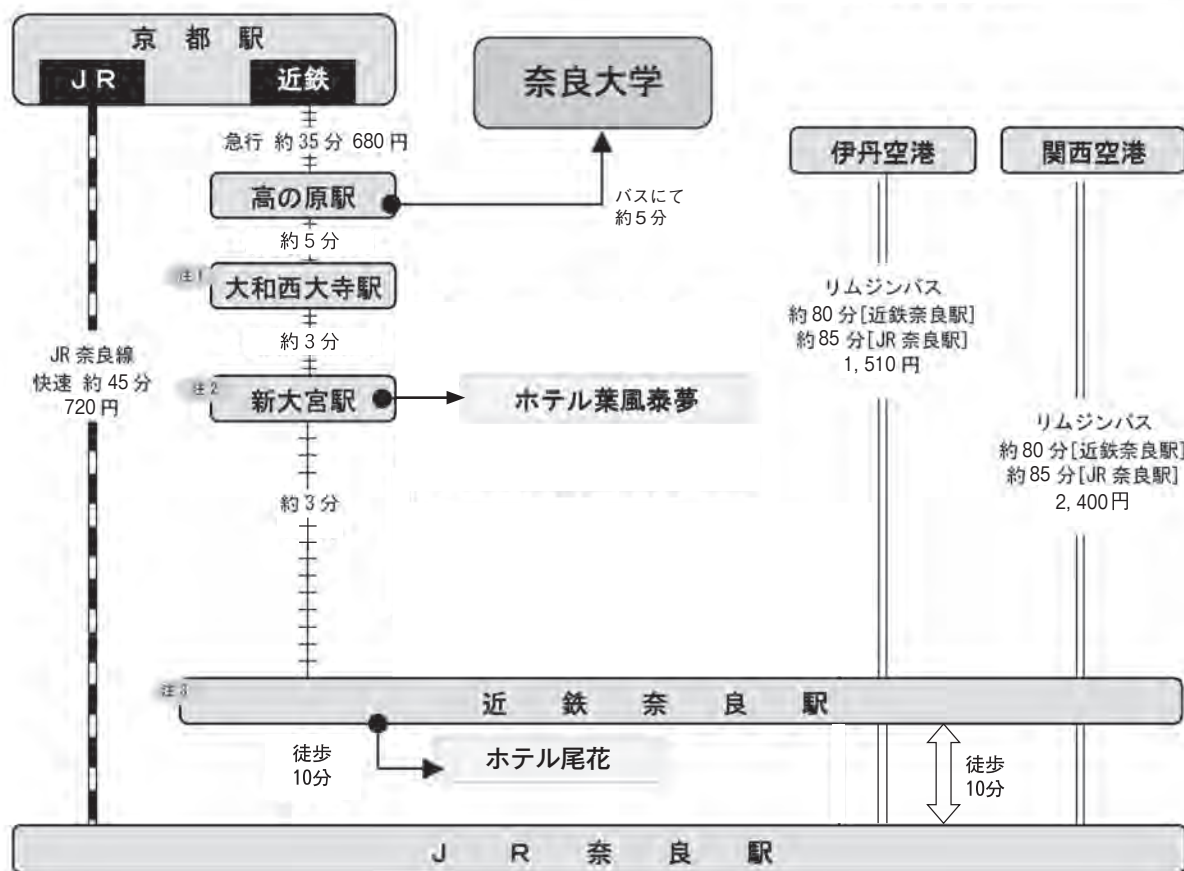
B. ^{ハーフタイム}ホテル葉風泰夢

特 徴 機能的で無駄がなく、駅からも近いため利便性がよい
アクセス 新大宮駅より徒歩約3分、奈良大学までの所要時間は、約40分
【コンビニエンスストア、ホテル近くに2軒あり。徒歩2～3分】
客 室 ユニットバス、トイレ、TV、個別空調、ドライヤー、冷蔵庫、電話、
湯沸かしポット（電気スタンドは、貸出可能）
朝 食 7：30～9：00（中華粥セット）

所 在 地 〒630-8114
奈良市芝辻町2-11-6



交通アクセス



注1) 橿原神宮前行きの場合は乗り換えが必要。
 注2) 京都～新大宮間、急行で約45分・760円。
 注3) 京都～近鉄奈良間、急行で約47分・760円。
 特急で約35分・1,280円。(特急料金520円含む)

《お問い合わせ・申込先》

旅行企画・実施 東武トップツアーズ株式会社 奈良支店

観光庁長官登録旅行業第38号

(一社) 日本旅行業協会正会員 ポンド保証会員

〒630-8115

奈良県奈良市大宮町6-2-19 東京海上日動ビル2階

TEL (050) 9001-6307

FAX (0742) 32-1172

営業時間 平日 10:00～17:00

(休業日: 土曜・日曜・祝日及び、12月29日～1月4日)

総合旅行業務取扱管理者: 平野 公一

担当者: 岡田 智恵子



旅行業公正取引
協議会 会員

9. 利用できる制度

①学校学生生徒旅客運賃割引証（学生割引証）

正科生がスクーリングの出席等の目的で、ＪＲの鉄道・バス・航路を片道101km以上乗車する場合、普通乗車券が2割引きで購入可能です。本学が発行する「学生割引証」と「学生証」をＪＲみどりの窓口に持参し購入してください。

1) 発行の条件

次の条件に該当する場合に発行します。

- ・通信教育部の正科生として在学している。（科目等履修生は発行できません。）
- ・本学等の通学に利用するＪＲの鉄道・バス・航路を片道101km以上乗車する場合。
- ・使用目的が、スクーリングの受講、科目修得試験の受験、博物館実習、卒業式等の本学通信教育部の行事出席に該当している。

2) 申込時期

●スクーリング受講時

スクーリング受講申込書を郵送（窓口提出可能）する際に学生割引証発行願を同封してください。スクーリング受講申込書の提出がない場合、学生割引証は発行できません。

●科目修得試験受験時

科目修得試験受験申込書を郵送（窓口提出可能）する際に学生割引証発行願を同封してください。科目修得試験受験申込書の提出がない場合、学生割引証は発行できません。

●スクーリング放課後の科目修得試験受験時

スクーリングを受講されず、スクーリング放課後の科目修得試験のみ受験される方は、スクーリング放課後の科目修得試験受験申込書を郵送（窓口提出可能）する際に学生割引証発行願を同封してください。

ただし、スクーリング放課後の科目修得試験の申込期間は、スクーリング開講日初日の2週間前から4日前（必着）となっております。申込期間終了間際に申込みされた場合、通信教育部事務室から送付した学生割引証が使用日までにお手元に到着しない恐れがあります。学生割引証が必要な方は、学生割引証の送付日数も考慮していただき手続きをお願いします。

3) 申込方法

「学生割引証発行願」（本冊子巻末の様式をコピーして使用）に記入例を参考に必要事項を記入の上、通信教育部事務室宛に84円切手を同封し郵送してください。1回の使用目的につき1枚の学生割引証を発行します。ただし、往復乗車券の有効日数又は交通機関の事情等で2枚以上必要な場合は、その旨を記入してください。

4) 注意事項

- ・学生割引証の利用枚数の制限はありません。
- ・発行した学生割引証を未使用の場合は、各自で廃棄してください。絶対に不正使用をしないでください。（不正使用の場合、正規の3倍の運賃を追徴されます。）
- ・学生割引証を利用して乗車券を購入又は乗車する際には、必ず学生証を携帯してください。

- ・乗車券の有効日数等、詳しいことは、ＪＲみどりの窓口で確認してください。
- ・発行の条件を満たし発行された「学生割引証」を利用し、ＪＲ以外でも利用できる交通機関もあります。各自でご利用の交通機関にご確認をお願いします。

５）学生割引証の不正使用に関して注意喚起致します

学生割引証の不正使用に対しては、本学学則に則る厳重な処分と、交通機関に対する違反金を加えた弁済、ならびに社会的制裁が科せられます。

学生割引証の不正使用は、絶対に許されることではありません。万一、不正使用が判明した場合、本学通学部学生を含む大学全体の学割発行権が停止され、奈良大学で学ぶ多数の学生の健全な学生生活に甚大な被害を及ぼすことになります。このことを十分念頭に置いていただき、発行条件に沿った学生割引証のご使用をお願いします。

②実習用通学定期券について

本来、通信教育は日常的に通学を必要としない学習システムであるため、通学定期券は使用できないことになっています。

ただし、通信教育部生であっても、スクーリングの受講に限り一定の条件を満たしますと、通常の通学定期券ではなく**実習用通学定期券**が使用できる場合があります。（各電鉄会社により発行条件が異なります。使用形態も各電鉄会社ごとに制約があります。）

スクーリングの受講時に実習用通学定期券の使用を希望する場合は、以下の内容を確認のうえ、所定の期間内に通信教育部事務室へ電話連絡してください。電話連絡していただいた方へののみ、申請方法等について詳しい説明をさせていただき、後日、「実習用通学定期券使用申請書」等の必要書類を送付します。

なお、実習用通学定期券を使用するには、毎回、事前に大学から各電鉄会社に発行申請を行う必要があります。**各電鉄会社へは、毎回、大学から一括で申請するため、手続き期間を過ぎた場合は、いかなる理由があっても一切受付はできません。**

１）実習用通学定期券の使用について

●実習用通学定期券は、**スクーリング受講日のみ使用が可能です。**スクーリング受講日以外の使用は認められません。スクーリング受講日以外は使用しないでください。

※スクーリングの受講以外の目的で奈良大学に来校される場合も使用できません。**スクーリング受講日以外に使用した場合は、不正使用となります。途中下車もできません。**

●実習用通学定期券は、１ヶ月定期券のみとなります。

２）発行の条件

●スクーリングを**１ヶ月間に３科目（合計９日間）以上**受講する場合。

※使用電鉄会社、受講日数により定期券の方が割高になる場合があります。各自で乗車料金を確認し、申請をしてください。実習用通学定期券の運賃は、通常の通学定期券と同額です。

※受講日数等により電鉄会社によっては承認がおりない場合もあります。

●夏期スクーリング（８月・９月実施分）および冬期スクーリング（２月・３月実施分）を対象とします。

●乗車区間は、自宅（宿泊先）最寄駅から大学最寄駅までの最短区間となります。

３）手続方法

●実習用通学定期券の使用を希望する場合は、「２）発行の条件」を確認いただき、次の期間内に通信教育部事務室へ電話連絡してください。申請方法等について説明させ

ていただき、「実習用通学定期券使用申請書」等の必要書類を送付します。

〈夏期スクーリング〉・・・6月17日～6月24日

〈冬期スクーリング〉・・・12月6日～12月13日

※所定の期間内に電話連絡がない場合は、いかなる理由があっても一切受付はできません。

※受付対応可能な曜日と時間は、『ハンドブック』（P 1）で確認してください。

●送付します所定の申請書を提出日までに通信教育部事務室に提出していただきます。

●大学より各電鉄会社に発行申請を行います。各電鉄会社から承認がおりた場合、実習用通学定期券通学証明書を申請者に送付します。

●各電鉄会社の指定駅窓口の実習用通学定期券通学証明書と学生証を持参し、「実習用通学定期券」を購入してください。

※購入窓口は、各電鉄会社指定の窓口となります。近鉄電車の場合は、「大和西大寺駅」が購入指定駅となります。例えば、スクーリング初日に実習用通学定期券を購入される場合、往路の「大和西大寺駅」までの片道運賃は現金で切符を購入していただくことになります。

4) 注意事項

●実習用通学定期券を購入するよりも、回数券や通常の切符で通学の方が割安のケースが多いです。各自でよく検討していただき、必要な場合のみ申請をしてください。

●実習用通学定期券は、通常の通学定期券とは異なり、「1）実習用通学定期券の使用について」、「2）発行の条件」に該当する場合のみ発行されます。記載内容を承諾のうえ、必要な場合のみ申請をしてください。

●一部電鉄会社によっては、発行されない場合もあります。

③出席依頼状

スクーリングの受講、科目修得試験の受験、博物館実習、卒業式等の出席に際し、勤務先への出席依頼状が必要な場合は、勤務先所属長宛に「私立大学通信教育協会会長」及び「本学学長」名で送付することができます。ただし、あらかじめ勤務先にスクーリング等の出席の許可を得ておいてください。

1) 申込方法

スクーリング受講申込書を郵送（窓口提出可能）する際に、「出席依頼状発行願」（本冊子巻末の様式をコピーして使用）に必要事項を記入の上、84円切手を同封して郵送してください。

④自動車通学（二輪を除く）

本学では自動車通学は、原則禁止です。ただし、特別な事情により自動車通学しなければならない場合のみ許可します。

1) 申請方法

「自動車通学申請書」（本冊子巻末の様式をコピーして使用）に必要事項を記入の上、84円切手を同封して郵送してください。

2) 注意事項

・交通事情、渋滞等で授業及び試験等に遅刻した場合は、本人の責任とします。

・大学で実施される行事等の関係で車での入構をご遠慮いただく場合もあります。

10. 授業科目の内容（シラバス）

奈良大学通信教育部の科目ナンバリング

「ナンバリング」とは、各科目に適切な番号をつけることでカリキュラムのなかでの位置づけを分かりやすく明示し、教育課程の体系を明確にするための仕組みです。

第 1 階 層		第 2 階 層		第 3 階 層	第 4 階 層	第 5 階 層
科 目 群		科目分類		授業方法 (1 桁) ※ T はテキスト科目、 S はスクーリング科目、 R は卒業論文	配当年次 (1 桁)	科目番号 (2 桁)
名 称	記号 (1 桁)	名 称	番号 (1 桁)			
教養科目 (Liberal Arts)	A	教養一般	1	T	1 ~ 4	01 ~ 99
				S	1 ~ 4	01 ~ 99
		教養語学	2	T	1 ~ 4	01 ~ 99
				S	1 ~ 4	01 ~ 99
専門科目 (Letters) ※文学部	L	必修(史学)	1	T	1 ~ 4	01 ~ 99
				S	1 ~ 4	01 ~ 99
		必修(文化財)	2	T	1 ~ 4	01 ~ 99
				S	1 ~ 4	01 ~ 99
		必修(卒業論文)	3	R	4	01 ~ 99
		概 論	4	T	1 ~ 4	01 ~ 99
				S	1 ~ 4	01 ~ 99
		各 論	5	T	1 ~ 4	01 ~ 99
				S	1 ~ 4	01 ~ 99
自由選択科目 (Elective)	E	自由選択	1	T	1 ~ 4	01 ~ 99
				S	1 ~ 4	01 ~ 99
資格科目 (Qualification)	Q	学芸員	1	T	1 ~ 4	01 ~ 99
				S	1 ~ 4	01 ~ 99

通信教育部開講科目の科目ナンバリング一覧表

第 1 階 層		第 2 階 層		第 3 階 層	第 4 階 層	第 5 階 層	科目ナンバリング (6桁)	科 目 名	配当年次
科 目 群		科目分類		授業方法 (1桁) ※ Tはテキスト科目、 Sはスクーリング科目、 Rは卒業論文	配当年次 (1桁)	科目番号 (2桁)			
名 称	記 号 (1桁)	名 称	番 号 (1桁)						
教養科目 (Liberal Arts)	A	教養一般	1	T	1～4	01～99	A1T101	人間論Ⅰ	1
							A1T102	人間論Ⅱ	1
							A1T103	国際関係論Ⅰ	1
							A1T104	国際関係論Ⅱ	1
							A1T105	環境論Ⅰ	1
							A1T106	環境論Ⅱ	1
							A1T107	情報基礎・倫理	1
							A1T108	健康論	1
							A1T201	人間論Ⅲ	2
							A1T202	人間論Ⅳ	2
							A1T203	国際関係論Ⅲ	2
							A1T204	環境論Ⅲ	2
							A1T205	環境論Ⅳ	2
							A1T206	法学概論	2
							A1S101	スポーツ実技	1
							A1S201	国際関係論Ⅳ	2
							A1S202	データ処理論	2
専門科目 (Letters) ※文学部	L	必修 (史学)	1	S	1～4	01～99	A2S101	英語Ⅰ	1
							A2S102	英語Ⅱ	1
							A2S103	英語Ⅲ	1
							A2S104	中国語	1
		必修 (文化財)	2	S	1～4	01～99	L1T101	史学講読Ⅰ	1
							L1S201	史学講読Ⅱ	2
							L1S301	史学演習Ⅰ	3
							L1S302	史学演習Ⅱ	3
		必修 (卒業論文)	3	R	4	01～99	L1S401	史学演習Ⅲ	4
							L2T101	文化財学講読Ⅰ	1
							L2S201	文化財学講読Ⅱ	2
							L2S301	文化財学演習Ⅰ	3
		概 論	4	T	1～4	01～99	L2S302	文化財学演習Ⅱ	3
							L2S401	文化財学演習Ⅲ	4
							L3R401	卒業論文	4
							L4T101	史料学概論	1
		各 論	5	T	1～4	01～99	L4T102	考古学概論	1
							L4T201	美術史概論	2
							L4T202	東洋史概論	2
							L4T203	西洋史概論	2
							L5T101	シルクロード学	1
							L5T201	江戸文学論	2
							L5T202	歴史文学論	2
							L5T203	書誌学	2
							L5T204	平安文学論	2
自由選択科目 (Elective)	E	自由選択	1	S	1～4	01～99	L5T205	民俗学	2
							L5T301	東洋史特殊講義	3
							L5T302	言語伝承論	3
							L5T303	観光論	3
							L5T304	古文書学	3
							L5T401	西洋史特殊講義	4
							L5T402	建築史	4
							L5S101	奈良文化論	1
							L5S102	神話伝承論	1
							L5S103	仏教考古学	1
							L5S301	日本史特殊講義	3
							L5S302	考古学特殊講義	3
資格科目 (Qualification)	Q	学芸員	1	T	2～4	01～99	L5S303	美術史特殊講義	3
							L5S304	歴史地理学	3
							L5S305	文化財修復学	3
							E1T101	文化人類学	1
							E1T301	現代文学論	3
							E1T302	自然地理学	3
							E1T401	人文地理学	4
							E1T402	気候学	4
							E1S101	心理学基礎	1
							E1S102	経営学基礎	1
							E1S201	社会学基礎	2
							E1S202	情報処理	2
							E1S301	地理情報システム	3
							E1S302	臨床心理学	3
							Q1T201	生涯学習概論	2
							Q1T202	博物館概論	2
							Q1T203	博物館経営論	2
							Q1T204	博物館資料論	2
							Q1T205	博物館資料保存論	2
							Q1T206	博物館展示論	2
							Q1T207	博物館教育論	2
							Q1T208	博物館情報・メディア論	2
				S	3～4	01～99	Q1S301	博物館実習	3

学習時間について

3日間の面接授業が行われる講義科目や演習・講読科目に合格すれば、1つの科目につき2単位が与えられます。講義科目や演習・講読科目の単位数は、外国語科目・スポーツ実技・データ処理論の2倍になっています。これは、学生の自習時間の違いを考慮して、文部科学省がこのように定めているためです。下表①の外国語科目・スポーツ実技・データ処理論は、授業時間中の会話や実技や実験や実習が重視される科目で、学生の自習時間はもちろん絶対に必要ですが、その自習時間は比較的少なくてもかまいません。しかし、下表②の講義科目や演習・講読科目は、教員の講義や学生の研究発表を主体とし、予習・復習や事前・事後の文献講読をしなければ教育目標を達成できない科目であるため、下の図のように、それに費やす学生の自習時間が、①の科目よりも非常に長くかかる性質を持っています。文部科学省は、実際の授業時間は同じであっても、自習時間が長くかかることを考慮して、②の講義科目や演習・講読科目の単位数を①の科目の2倍にしているのです。

このように、科目ごとの単位数の違いには学生の自習時間も考慮されており、大学における学習では、学生による自主的・自発的な予習・復習と文献の精読が不可欠であることを考慮して学習を進めてください。

【参考】通信教育部規程 第14条 第1項 第2号

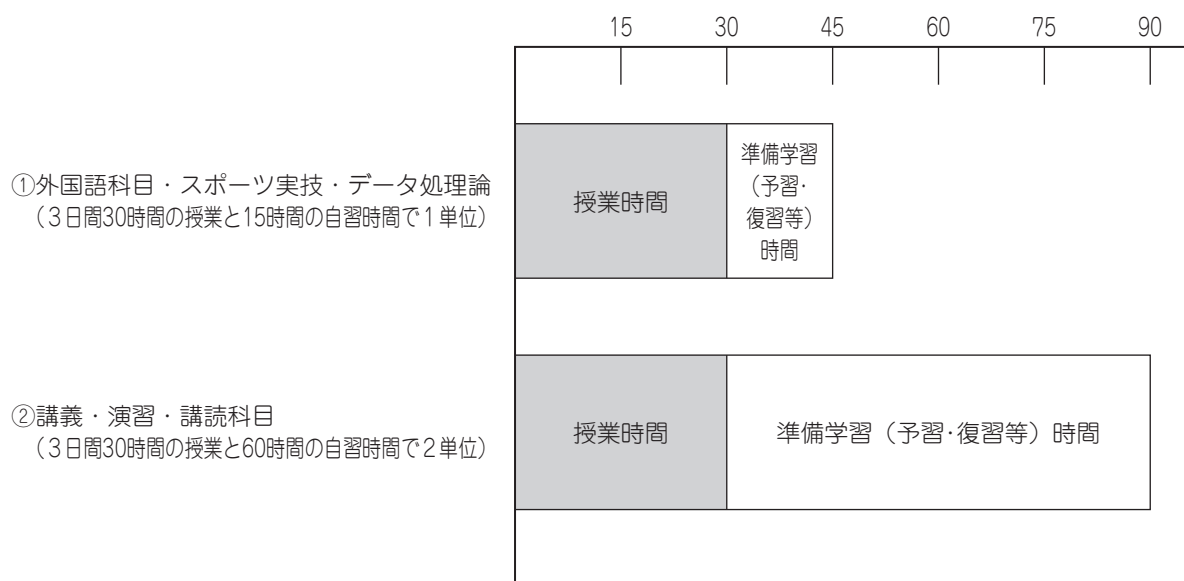
ア 講義、演習及び講読については、15時間の授業をもって1単位とする。

イ 外国語については、30時間の授業をもって1単位とする。

ウ 実習及び実技については、30時間の授業をもって1単位とする。

※5コマ×3日間（1コマ2h）として計算

科目ごとの授業時間・準備学習（予習・復習等）時間の目安



国際関係論Ⅳ

科目担当者： 横 山 香
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 教養科目
配 当 年 次： 2～4
科目ナンバリング： A1S201

テーマ

ヨーロッパの現状とその社会・文化について、文化研究の視点から学ぶ。

到達目標

現在ヨーロッパで生じている社会的・文化的現象について、「ナショナリズム」「エスニシティ」「文化的アイデンティティ」といった文化研究における諸概念を用いて考察し、自らの社会と文化の省察につなげる。

事前・事後学習

事前学習：興味関心のあるヨーロッパの国・地域や文化について、可能な範囲で調べておいてください。

事後学習：日々接する世界の時事問題について、授業で学んだ文化研究の概念を用いて考察してください。

フィードバック

授業最終日にレポート（400字詰め原稿用紙2枚程度）を提出。各レポートにはコメントを記して返却する。

評価方法・基準

レポートおよび授業中の発言や取り組みを総合的に評価する。

履修上の注意事項等

用語の検索や情報入手のため、インターネットができる機器を持ち込んでもらって構いません。

授業概要

歴史的建造物や文化財、美しい風景、最新の産業等、ヨーロッパには私たちを魅了するさまざまな要素がある。しかしその一方で、テロ事件や移民・難民に対する差別や暴力といった社会的問題も耳にする。この授業ではとくに西ヨーロッパの国々を中心に、さまざまな社会現象、言語問題、あるいは文学・映画作品を取り上げ、「ナショナリズム」「エスニシティ」「文化的アイデンティティ」といった文化研究の諸概念を用いて、ヨーロッパの社会・文化の理解を試みる。そのうえで、いまの日本に生きる私たちの社会や文化の省察につなげる。

授業計画

<1日目>

- 午 前：文化研究の諸概念（1）
- 午 後：ヨーロッパの社会と文化（ドイツ、オーストリア他）

<2日目>

- 午 前：ヨーロッパの社会と文化（フランス）
- 午 後：ヨーロッパの社会と文化（ベネルクス、スペイン他）

<3日目>

- 午 前：ヨーロッパの社会と文化（北欧、イギリス）
- 午 後：文化研究の諸概念（2）

<テキスト>

プリントを配布する。

データ処理論

科目担当者： 横 田 浩
単 位 数： 1 単位
科 目 区 分： 教養科目
配 当 年 次： 2～4
科目ナンバリング： A1S202

テーマ

コンピュータを用いたデータ処理。

到達目標

文字データ・画像データの加工およびそれらを含むレポート・卒論の作成技術を習得する。

事前・事後学習

事前学習：可能な範囲で、学外授業で訪れる奈良公園、興福寺、奈良町について、調べておくこと。

事後学習：これまでに作成した図表や画像を用いた実際のレポートを授業内容を活用して作成しなおしてみてください。また、今後のレポートや卒論などの作成において実践してください。

フィードバック

3日目午後の最終レポート作成時に、個別にレポート作成のための助言を与え、個別の質問に対応する。また、授業の最後に全受講生に共通したレポート作成のための助言および個別に受けた質問で全受講生がかわるものについて解説する。

評価方法・基準

最終的に作成するレポートを基に評価する。

履修上の注意事項等

機器の関係上、受講人数を制限する。

デジタルカメラ等（スマートフォンのカメラでも可。以下同じ）を持参すること。

作成したデータを自宅に持ち帰りたい場合は、USB メモリを持参すること。

授業概要

本科目では、コンピュータを用いたデータ処理の方法を解説する。特に文字データと画像データに焦点をあてる。データ処理には、データの収集、蓄積、整理、加工、検索、伝達がある。奈良という特色を活かして、まずデジタルカメラ等により奈良市内にある史跡、旧跡等の画像データを収集する。これらの収集された画像データを検索しやすいように整理、加工し、コンピュータに蓄積する。この蓄積された画像データを文字データと組み合わせて、解りやすい資料やレポートを作成できる技術を養う。また、資料収集のためのインターネットの利用方法も解説する。

授業計画

<1日目>

午 前：実習をととして、Windows パソコンを用いて図表を含むレポート作成の方法について解説する。この解説に基づき文字および図表を含むレポートを作成する。

午 後：インターネットを利用した情報の検索方法を解説する。この解説に基づきテーマのあるレポートを作成する。

<2日目>

奈良公園内及び奈良町周辺の史跡、旧跡等を訪れて、デジタルカメラ等により画像データを収集する。

<3日目>

午 前：デジタルカメラ等により得られた画像データの加工方法について解説する。この解説に基づき、画像データを含んだ最終レポート作成のために必要な画像データを選び、加工する。

午 後：画像データ及びインターネットを利用して収集した資料に基づき、最終レポートを完成させる。

<テキスト>

テキストは、本学において作成したものを使用する。

<学外授業等>

実施場所 主として奈良公園内及び奈良町周辺

英 語 I

科目担当者： 岡 部 純 子
単 位 数： 1 単位
科 目 区 分： 教養科目
配 当 年 次： 1～4
科目ナンバリング： A2S101

テーマ

総合英語（初級）

到達目標

リスニングを主にして基本的な文法を復習し、英語運用の基礎力を養成する。

事前・事後学習

事前学習：英語の映画やドラマ、音楽等で英語の音声に慣れ親しんでください。
事後学習：授業時に学んだ表現をもう一度確認してください。

フィードバック

授業時確認テストは速やかに解説フィードバックを行います。また、質問時間を設けます。

評価方法・基準

発表アクティビティ等授業時の態度、確認テスト等により総合的に評価します。

履修上の注意事項等

必ず辞書持参もしくはオンライン辞書が使用できるようにしてください。

授業概要

映画教材を鑑賞し、英語の音声や会話表現に慣れ親しみます。また映画独特の表現などを理解して受講後も英語での映画鑑賞が楽しめるよう学習します。

授業計画

<1日目>

午 前：オリエンテーション、映画鑑賞
午 後：映画鑑賞、文法等表現確認、小テスト

<2日目>

午 前：映画鑑賞、内容確認
午 後：映画鑑賞、文法等表現確認、小テスト

<3日目>

午 前：映画鑑賞、内容確認
午 後：映画鑑賞、文法等表現確認、最終テスト

<テキスト>

授業時にプリントを配布します。

英 語 II

科目担当者： 古 木 圭 子
単 位 数： 1 単位
科 目 区 分： 教養科目
配 当 年 次： 1～4
科目ナンバリング： A2S102

テーマ

総合英語：スピーチから学ぶ英語表現

到達目標

英語のスピーチを聴くことで、標準的な英語文法と口語表現を身につける。

事前・事後学習

普段の生活で、ニュースやスピーチなど、英語を聴く機会をなるべく増やしておく。基礎的な英語文法（品詞、時制など）の復習をしておく。

フィードバック

授業中に質疑応答の時間を設け、全体、または個別にフィードバックをします。小テスト終了後に開設時間を設け、質問に対応する時間を設けます。

評価方法・基準

発表、授業への参加状況、小テストなどにより総合的に評価します。

履修上の注意事項等

受講時は、必ず辞書（電子辞書可）を持参してください。

授業概要

英語によるスピーチをいくつか聴き、その中に含まれるスピーチの内容、メッセージ、表現、時代背景などを分析、解説します。1960年代、90年代、現代のスピーチを比較しながら聞くことで、英語表現の変化、スピーチの背景にある社会問題、時代背景についても考察します。

授業計画

<1日目>

- 午 前：1960年代アメリカと人種問題—Martin Luther King, Robert F. Kennedy の演説
スピーチを聴き、時代背景、概要の説明、質疑応答を行う
- 午 後：上記スピーチの分析、音読、質疑応答、まとめ

<2日目>

- 午 前：「人生」についてのスピーチ—Steve Jobs, "Stay Hungry, Stay Foolish" (2005)
スピーチを聴き、概要の説明、質疑応答を行う
- 午 後：上記スピーチの分析、音読、質疑応答
1日目のスピーチに関する小テスト

<3日目>

- 午 前：「人権」についてのスピーチ
スピーチを聴き、質疑応答を行う。
- 午 後：午前に聴いた上記スピーチの詳しい分析、音読、質疑応答を行う
2日目のスピーチに関する小テスト
総まとめ

<テキスト>

授業時にプリントを配布します。

英 語 III

科目担当者： エリック マーティン
単 位 数： 1 単位
科 目 区 分： 教養科目
配 当 年 次： 1～4
科目ナンバリング： A2S103

テーマ

English Communication (英語コミュニケーション)

到達目標

To improve the ability to produce and understand English communicatively.

事前・事後学習

事前学習：授業が始まる前までに、簡単な自己紹介を用意すること。
事後学習：授業で扱った部分について再度確認する。

フィードバック

3日間の授業の中で、個別にまたは全員にフィードバックをします。
特に1日目の "Self introduction"、2日目の "Talking about our hometowns" と "Group Presentation" について、具体的なフィードバックを行います。質問する時間も毎日とります。

評価方法・基準

発表や授業中の態度を重視した総合評価をします。

履修上の注意事項等

アメリカ人の教員と「英語を楽しむ」気持ちで、積極的に参加して下さい！

授業概要

In this class we will practice the four language skills, reading, listening, speaking, and writing, to describe ourselves and our interests. We will expand to discuss Japan and the world, including traditional and popular American culture.

授業計画

<1日目> About Ourselves (自分自身やクラスメートの紹介)

午 前：Course introduction

午 後：Self-introductions and learning about classmates

<2日目> About Japan (日本と日本の文化の紹介)

午 前：Explaining Japanese culture, including traditions and student interests

午 後：Talking about famous places and our hometowns

Group presentation on Japanese culture

<3日目> About the World (世界を知る)

午 前：Group discussion: Countries of the world

午 後：Short speech: "Places we would like to visit" - Presentation: English used in various countries

<テキスト>

授業時にプリントを配布します。英和・和英辞典（電子辞書でも可）を持参して下さい。

中国語

科目担当者： 羅 東 耀
単 位 数： 1 単位
科 目 区 分： 教養科目
配 当 年 次： 1～4
科目ナンバリング： A2S104

テーマ

初級中国語。

到達目標

中国語の発音と基礎文法の習得、朗読と会話などの練習。

事前・事後学習

事前学習：可能な範囲で中国語で話してみたい日常会話を用意し、日本と中国の漢字の違いを調べる。
事後学習：習ったことばや文法を使って練習問題を完成させる。

フィードバック

- ・試験終了後に、講評や解答例を示す。
- ・授業中、適宜、質疑応答の時間を設け、質問等に応じる。

評価方法・基準

3日間の授業を受ける必要はあるが、レポートはない。3日間の受講状況や筆記試験などに基づいて統合的に評価する。

授業概要

世界において日常生活で一番よく使われている言語は英語ではなく中国語だと言われている。中国語はすべて漢字からなっているが、その漢字の発音はもちろん日本語と違い、また文法も大きく違うのである。そのため、中国語は外国語であることをまず認識する必要がある。

この科目は中国語で読む、書くおよび話すなどの総合的コミュニケーション能力の養成を目的とする。具体的にはまず発音記号であるピンインから学び、その後、中国語における表現の仕組みを理解し、独学できる能力を身につけることを目指す。

授業計画

<1日目>

- 午 前：1. 中国語と日本語の比較
2. 発音記号（ピンイン）の勉強
* 母音（単母音、特別母音、複合母音）
- 午 後：1. 発音記号（ピンイン）の勉強
* 子音21コ、鼻音16コ
2. 学生全員が自分の名前を中国語で読めるように練習する

<2日目>

- 午 前：1. 発音の復習
2. 第一課の勉強
* be 動詞、肯定文、否定文と疑問文
- 午 後：1. 第二課の勉強
* 指示代詞、存在・所有文、疑問詞疑問文

<3日目>

- 午 前：1. 第三課の勉強
* 動詞述語文、数字、量詞
- 午 後：1. 第四課の勉強
* 形容詞述語文、反復疑問文、連動文

<テキスト> ※受講時に配布します

『簡明中国語基礎・表現編』蘇徳昌 監修、羅東耀 他著、白帝社

史学講読Ⅱ

科目担当者： 井 岡 康 時
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 専門科目
配 当 年 次： 2～4
科目ナンバリング： L1S201

テーマ

明治期のコレラ感染をめぐる史料の読解と研究。

到達目標

1. 近世・近代史料読解の基礎となる和風漢文体の基本的な読みを身につける。
2. 明治期のコレラ感染に関する史料を読み、感染症の拡大に直面した社会の対応について学ぶ。
3. 人びとがいだいた恐怖や不安などの心情から近代の社会史を考える力を身につける。

事前・事後学習

事前学習：世界中の社会・経済に大きな影響を与え続けている新型コロナにかかわる新聞記事などを読み直し、どのようなことが課題になったか確認しておいてください。
事後学習：配布したテキストを声に出して読み、史料解読のスキルを身につけてください。史料に出てくる用語の意味を確認してください。

フィードバック

授業中、適宜質問の時間を設け、今後の学習につながるような助言をおこない、質問に答えます。

評価方法・基準

スクーリング最終日にレポートを課し、その内容により評価します。

履修上の注意事項等

1日目に使用する史料をプリントしたものを配布するので、2日目からは事前に読んで予習をしてください。

授業概要

1879年（明治12）と1886年（明治19）の2回にわたってコレラの大流行が発生し、いずれも15～16万人が感染し、10万人を超す死者を出しました。この経験によって政府の公衆衛生政策が大きく変化し、また、人びとの衛生観念、病者に対する差別・排除の意識なども大きな影響を受けました。こうした状況を史料から読み解き、近代化が進展するなかで、地域社会や人びとの社会意識がどのように変化したかを考えてみたいと思います。

授業計画

<1日目>

- 午 前：和風漢文体の基本的な読み方について学びます。
- 午 後：主として当時の奈良県の活字史料を読み、コレラ感染の具体的な状況を学びます。

<2日目>

- 午 前：当時の奈良県の活字史料を読み、コレラ感染の具体的な状況を学びます。
- 午 後：奈良県周辺府県の活字史料にも目を通し、コレラ感染の具体的な状況を学びます。

<3日目>

- 午 前：当時の奈良県の活字史料を読むとともに、史料原本にも目を通してもらいます。
- 午 後：明治期のコレラ感染に関する状況をまとめるとともに、今後自分で研究を進める上での留意点について解説します。

<テキスト>

テキストは使用しません。授業時にプリントを配布します。

文化財学講読Ⅱ

科目担当者： 深 澤 芳 樹
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 専門科目
配 当 年 次： 2～4
科目ナンバリング： L2S201

テーマ

私たちの暮らしの中に、過去の文化を見つけ、その歴史をたどります。

到達目標

テーマを設けて取り組み、考古学研究の多様性を学びます。

事前・事後学習

事前学習：可能な範囲で授業に取り上げる内容について事前に調べておく。
事後学習：授業で取りあげた資料を、自身で観察し、文献を読み直します。

フィードバック

授業中に、適宜、質疑応答を受けて、アドバイスをを行います。

評価方法・基準

受講時の意欲などにより、総合的に評価します。

履修上の注意事項等

日常生活の中に、文化を発見するよう心がけてください。

授業概要

「魏志倭人伝」と飛鳥・奈良時代について、染色や織り方など衣服・検出種子などで食生活・遺構などから住生活をテーマに、考古学資料・絵画彫刻資料と文献記録を比較照合し、当時の実態に迫ります。
2日目には、学外授業を行います。

授業計画

<1日目>

午 前：「魏志倭人伝の考古学」衣1
午 後：「魏志倭人伝の考古学」衣2

<2日目>

一日、学外授業を実施します。博物館見学の予定です。
詳細は、受講直前に配布する「スクーリング実施要項」に記載します。

<3日目>

午 前：「飛鳥・奈良時代の考古学」法隆寺編1
午 後：「飛鳥・奈良時代の考古学」法隆寺編2

<テキスト>

テキストは、使用しません。授業時に、適宜、プリントを配布します。

史学演習Ⅰ

科目担当者： 森 川 正 則
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 専門科目
配 当 年 次： 3～4
科目ナンバリング： L1S301

テーマ

歴史学研究の方法論。

到達目標

歴史学の学術論文（卒業論文）を書くにあたって必要な手続きや方法論を習得する。

事前・事後学習

各自の研究したいこと（たとえばどの時代か、地域や場所を特定するのであればどこか、どのような分野か、具体的に何を研究対象とするのかなど）をなるべく具体的に自分なりに整理してくること。また具体的な史料や先行研究（研究史）についても調べられる方はノートにまとめてくこと。

現在の歴史学の水準では研究したいテーマについてすぐに研究に着手できないこともある。研究上の疑問もあればメモしてくること。

フィードバック

受講生からの発表後、教員から全体的な講評（まとめ）を行います。初日に行った講義内容をふりかえりつつ、対象とする国・地域・時代・テーマを問わず、「歴史学における調査・研究とはどのようなものか」を理解する上で有益な図書・論文を紹介します。今回の演習後、受講生には各自で読んで学んでもらい、次の演習と卒業論文執筆につなげてもらいます。

評価方法・基準

自己の研究目標をしっかりとたてて、本スクーリングにおいて研究の技法や理論をマスターし、個人研究を進めていけるようになれば合格とする。スクーリングでの発表や討論での成果をみて評価する。

授業概要

本演習は、文化財歴史学科のうち、歴史学分野を専攻し、歴史研究で卒業論文を書く受講生のためにゼミナール形式でおこなわれる授業です。

具体的には、歴史研究をすすめるにあたって必要な学問上の手続きや方法論の修得をめざします。ここでいう、手続きや方法論とは、具体的には、卒業論文のテーマを決めるまでの勉強の仕方、論文（著書を含む）や史料の集め方などとなります。これらの手続きや方法論に関する講義をふまえたうえで、本学図書館へ移動し、各自のテーマにそって、できるだけ多くの論文（著書を含む）や史料にふれる経験をします。そして、それらを研究報告レジュメとしてまとめ、受講生全員の前で各自が研究報告をおこない、質疑応答をとおして内容をさらに深めていくことになります。

なお、本年度担当教員の専門分野は、日本近現代史ですが、史学演習では、日本史・東洋史・西洋史をとわず歴史研究において基本的かつ共通の手続きや方法論をまなびますので、受講するまえに、まずは卒業論文のテーマを何にするのか、という点をできるかぎり具体的に考えたうえで、のぞんでいただきたいと思います。

史学演習Ⅰは史学演習Ⅱより先に受講しても後に受講してもかまいません。

授業計画

<1日目>

- ・受講生全員が、自己紹介をおこない、卒業論文のテーマのあらましを語ります。
- ・担当教員がつぎのような講義をおこないます。
 - （１）卒業論文のテーマのたてかた、研究史の整理と批判、史料批判
 - （２）論文（著書を含む）や史料の集めかた

<2日目>

- ・本学図書館へ移動し、各自のテーマにそって、論文（著書を含む）や史料をさがし、それらを読んだり、ノートやメモをとったり、あるいは複写などの作業をおこないます。
- ・卒業論文にかかわる研究報告のためのレジュメを作成し、提出します。

- ・この間、担当教員も図書館において、適宜、アドバイスをおこなったり、質問等に応じたりします。

<3日目>

- ・提出したレジュメをもとに受講生全員が研究報告をおこないます。人数にもよりますが、ひとり5分～10分ほどがめやすとなります。
- ・各自の研究報告が終わるごとに一定の質疑応答の時間をとりますので、活発な議論が展開されるよう積極的な参加を期待します。
- ・担当教員も質疑応答に加わり、適宜、アドバイスをおこなったり、質問等に応じたりします。

<テキスト>

テキストは使用しません。適宜、プリントを配布します。

<注意事項>

史学演習Ⅰと史学演習Ⅱは、担当教員が同じ場合は、基本的に同じ内容となります。したがって、史学演習Ⅰと史学演習Ⅱを年度をまたいで受講する場合は、担当教員の名前を確認しておいてください。

史学演習Ⅱ

科目担当者： 木 下 光 生
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 専門科目
配 当 年 次： 3～4
科目ナンバリング： L1S302

テーマ

歴史学の研究方法を学ぶ。

到達目標

卒業論文作成にむけて、自分の目標をたて、本スクーリングにおいて、研究の技法をマスターし、個人研究を進めていけるようになること。

事前・事後学習

事前学習：各自の研究したいこと（たとえばどの時代か、地域や場所を特定するのであればどこか、どのような分野か、具体的に何を研究対象とするのかなど）をなるべく詳しく自分なりに整理してくること。
また具体的な史料や先行研究（研究史）についても調べられる方はノートにまとめてくこと。
現在の歴史学の水準では研究したいテーマについて、すぐに研究に着手できないこともある。研究上の疑問もあればメモしてくること。

事後学習：講義、および研究報告に対する質疑応答で得られた成果をもとに、卒業論文の準備にとりかかること。

フィードバック

3日目の最後に、まとめ（振り返り）をおこないます。

評価方法・基準

発表、討論により評価する。

授業概要

本演習は、文化財歴史学科のうち、歴史学分野を専攻し、歴史研究で卒業論文を書く受講生のためにゼミナール形式でおこなわれる授業です。

具体的には、歴史研究をすすめるにあたって必要な学問上の手続きや方法論の修得をめざします。ここでいう、手続きや方法論とは、卒業論文のテーマを決めるまでの勉強の仕方、論文（著書を含む）や史料の集め方などとなります。

これらの手続きや方法論に関する講義をふまえたうえで、本学図書館へ移動し、各自のテーマにそって、できるだけ多くの論文（著書を含む）や史料にふれる経験をします。そして、それらをレジュメとしてまとめ、受講生全員の前で各自が研究報告をおこない、質疑応答をとおして内容をさらに深めていきます。

なお、本年度担当教員の専門分野は、日本近世史ですが、史学演習では、日本史・東洋史・西洋史をとわず歴史研究において基本的かつ共通の手続きや方法論を学びますので、受講するまえに、まずは卒業論文のテーマを何にするのか、という点をできるかぎり具体的に考えたうえで、のぞんでいただきたいと思います。

史学演習Ⅱは史学演習Ⅰより先に受講しても後に受講してもかまいません。

授業計画

<1日目>

- ・受講生全員が、自己紹介をおこない、卒業論文のテーマのあらましを語ります。
- ・担当教員がつぎのような講義をおこないます。
 - （１）卒業論文のテーマのたてかた、研究史の整理と論点の集約
 - （２）論文（著書を含む）や史料の集めかた

<2日目>

- ・本学図書館へ移動し、各自のテーマにそって、論文（著書を含む）や史料をさがし、それらを読んだり、ノートやメモをとったり、あるいは複写などの作業をおこないます。
- ・卒業論文にかかわる研究報告のためのレジュメを作成し、提出します。
- ・この間、担当教員も図書館において、適宜、アドバイスをおこなったり、質問等に応じたりします。

<3日目>

- ・提出したレジュメをもとに受講生全員が研究報告をおこないます。人数にもよりますが、ひとり10分前後がめやすとなります。
- ・各自の研究報告が終わるごとに一定の質疑応答の時間をとりますので、活発な議論が展開されるよう積極的な参加を期待します。
- ・担当教員も質疑応答に加わり、適宜、アドバイスをおこなったり、質問等に応じたりします。
- ・最後に、まとめ（振り返り）をおこないます。

<テキスト>

テキストは使用しません。適宜、プリントを配布します。

<注意事項>

史学演習Ⅰと史学演習Ⅱは、担当教員が同じ場合は、基本的に同じ内容となります。したがって、史学演習Ⅰと史学演習Ⅱを年度をまたいで受講する場合は、担当教員の名前を確認しておいてください。

史学演習Ⅲ

科目担当者： 外 岡 慎一郎
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 専門科目
配 当 年 次： 4
科目ナンバリング： L 1 S401

テーマ

卒業論文の作成に向けて、最終的な準備をはじめめる。

到達目標

史学演習Ⅰ・Ⅱで学習したことをふまえ、テーマの設定は合理的なものか、先行研究・関係史料の収集と分析は十分進められているか、章立てと想定している結論の整合性（論文の構成）に無理はないか、など、論文の骨格部分の完成度を見極め、また改善の余地があれば善後策を見いだすこと。

事前・事後学習

（事前）テーマの設定、先行研究・関係史料の収集と分析、できれば章立ての案を用意すること。
（事後）本授業で得た課題の解決、追加的研究論文・史料収集、テーマ・章立ての確定、執筆。

フィードバック

各報告の折にコメントする。

評価方法・基準

到達目標に示した諸要件の完成度と報告における説得力、質疑応答の場面での質疑、応答の的確性などを勘案して評価する。合格ラインに達しているかどうかは、スクーリング最終授業時にお知らせする。

授業概要

受講者全員による卒業論文作成にかかる準備報告と、報告を素材とした討論が主な内容となる。論文作成にかかるマニュアル的内容の講義は最終日に予定している。

受講にあたっては下記要件を備えた研究報告レジュメを用意すること。

- ・ A 4用紙（原則横書）4枚以内。冒頭に学籍番号、氏名、テーマ（卒論題目と相違してよい）を明記すること。
- ・ レジュメの章立ては、（１）研究の目的、（２）研究の現状、（３）今後の課題、（４）参考文献（史料、研究書・論文の順）目録、とする。全体の規定枚数（4枚）を超えない範囲で、史料の引用、図表の挿入も推奨する。
- ・（教員への）質問事項があれば、（５）として加えること。

なお、すでに卒業論文を合格し単位修得済の場合も、本科目は必修科目の為必ず受講すること。

授業計画

<1日目>

- 午 前：自己紹介
講義Ⅰ（「史料と史実」、源実朝暗殺事件を素材に）
- 午 後：研究報告①（研究報告は質疑応答含め25分程度を予定）

<2日目>

- 午 前：研究報告②
- 午 後：研究報告③

<3日目>

- 午 前：研究報告④
- 午 後：研究報告⑤
講義Ⅱ（全体講評、論文作成マニュアル的事項の説明）

<テキスト>

テキストは使用しない。講義についての資料は、適宜配布する。
研究報告レジュメは全員分を一日目の午後に配布する。

<注意事項>

受講人数により授業計画を変更することがある。

<専門科目>

文化財学演習Ⅰ（2024年8月9日～8月11日、9月6日～9月8日、2025年2月14日～2月16日 開講分）

科目担当者： 豊 島 直 博
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 専門科目
配 当 年 次： 3～4
科目ナンバリング： L2S301

テーマ

考古学、文化財学の研究。

到達目標

考古学の研究方法を習得する。

事前・事後学習

事前学習：自分が興味のある文化財について調べておくこと。
事後学習：演習中に紹介された文献を読みなおすこと。

フィードバック

ポスターの内容について講評する。

評価方法・基準

ポスター発表の内容を重視する。

授業概要

文化財学演習Ⅰは、考古学や文化財学に初めて挑戦しようとする初心者用の演習（卒業論文を執筆するための基礎演習）です。実習をしながら、基本的な理論や方法を、わかりやすく解説します。単に講義を聴いていただくのではなく、遺物などを見て、各自の関心のある分野を見つけていただくのが目的です。3日間のスクーリングで、考古学や文化財学への意欲をもっていただけるよう、期待しています。

最終日には、今後どのようなテーマで研究をしたいのか、どのように考古学や文化財学と関わっていききたいのかなどを、ポスター形式で発表していただきます。

なお、文化財学演習Ⅰは文化財学演習Ⅱより先に受講しても後に受講してもかまいません。

授業計画

<1日目>

- 午 前 ①「考古学（文化財学）の方法と調査」（講義：スライドを使用）
- 午 後 ②考古資料の観察法（講義と実習）
③考古資料の記録法（講義と実習）
④座談会（自己紹介）＊班に分かれて行います

<2日目>

- 午 前 ①考古学実習室見学
- 午 後 ②遺物観察実習
③文献調査実習
④調査研究・卒業論文指導

【①②③④は班に分かれて実習します】

<3日目>

- 午 前 ①ポスター作成
- 午 後 ②ポスター発表・討論

文化財学演習Ⅰ（2024年8月23日～8月25日、2025年2月21日～2月23日 開講分）

科目担当者： 関 根 俊 一
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 専門科目
配 当 年 次： 3～4
科目ナンバリング： L2S301

テーマ

美術史、文化財学の研究。

到達目標

美術工芸資料の基礎的知識と調査方法を修得する。

事前・事後学習

事前にポスター発表で取り上げるテーマに関する参考文献を集めておくこと。
受講後は、演習中に紹介された参考文献を読み直しておくこと。

フィードバック

3日目の最後に受講生がポスター発表を行います。
授業中、適宜、質問応答の時間を設けます。さらに実習後も質問があれば質問票等を通じて応じます。

評価方法・基準

ポスター発表の内容中心とした総合評価とします。

履修上の注意事項等

美術史は実物を見ることが何より重要であるため、積極的に博物館・美術館に足を運んで欲しいと思います。

授業概要

文化財学演習Ⅰは、美術史や文化財学に興味がある人を対象とした初心者用の演習です。3日間のスクーリングでは、美術工芸資料の特性に応じた取り扱いを中心に、博物館資料を取り巻く環境等についても講義を行います。最終日には各自テーマを設定し、ポスター形式で発表していただきます。

なお、文化財学演習Ⅰは文化財学演習Ⅱより先に受講しても後に受講してもかまいません。

授業計画

<1日目>

午 前：美術工芸品の取り扱い方法と保存環境（スライドを中心とした講義）
午 後：文献情報収集（講義と作業）
座談会（自己紹介）＊班に分かれて行います

<2日目>

終日、現地見学
※詳細は受講直前に配布する「スクーリング実施要項」に記載します。

<3日目>

午 前：ポスター作成
午 後：ポスター発表・討論

文化財学演習Ⅱ（2024年8月30日～9月1日、2025年2月14日～2月16日 開講分）

科目担当者： 岩 戸 晶 子
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 専門科目
配 当 年 次： 3～4
科目ナンバリング： L2S302

テーマ

考古学・文化財学の研究。

到達目標

歴史考古学の研究方法を習得する。

事前・事後学習

最終日には研究内容をまとめてポスター発表をしてもらいますので、事前に自分の興味のあるテーマをある程度定めて、書籍を読んだり、身近にある博物館を見学したりして準備を進めておいてください。

事後には、演習でおこなうポスター発表の内容をさらに掘り下げ、卒業論文の執筆を目指しましょう。

フィードバック

ポスター発表の内容について講評します。

評価方法・基準

ポスター発表の内容・取り組みを重視して評価します。

授業概要

文化財学演習Ⅱは考古学の手法を基に卒業論文をまとめるための力をつける基礎演習です。講義と実習を織り交ぜながら、受講生自身それぞれが自分の関心のある分野を探し、さらにそれについて調べていく楽しさを身につけていきます。

1日目には、考古学がどのような学問であるか調査方法や基礎的な考え方を学び、その後、実際に論文作成に至る過程を解説します。2日目には、フィールドで考古学や文化財の意義を考える機会を経て、実際に論文作成に不可欠な文献調査や遺物の観察・記録を実習として実施します。3日目には、各自の関心のあるテーマに関して、1日目・2日目の学習を通じて学んだこと、新たに実習で調査・研究した成果を加味して、ポスターにまとめ、発表をおこないます。

なお、文化財学演習Ⅱは文化財学演習Ⅰより先に受講しても後に受講してもかまいません。

授業計画

<1日目>

- 午 前：〔講義〕考古学の方法と調査
- 午 後：〔講義〕考古資料から歴史に迫る―論文をまとめるまで―
〔実習〕座談会（自己紹介） *班に分かれて実施します

<2日目>

- 午 前：〔フィールドワーク〕平城宮跡の踏査
- 午 後：〔実習〕①文献調査実習 ②遺物の観察・記録

<3日目>

- 午 前：〔実習〕ポスターの作成
- 午 後：〔発表〕ポスター発表・討論

<テキスト>

テキストは使用しません。適宜、プリントを配布します。

文化財学演習Ⅱ (2024年8月2日～8月4日、2024年9月13日～9月15日、2025年2月7日～2月9日 開講分)

科目担当者： 小 林 青 樹
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 専門科目
配 当 年 次： 3～4
科目ナンバリング： L2S302

テーマ

考古学、文化財学の研究。

到達目標

考古学の研究方法を習得する。

事前・事後学習

事前学習として、最終日(3日目)にポスターを製作し、ポスター発表を行いますので、発表のテーマ、研究のねらい、研究計画の概要を事前になるべく決めておいてください(卒業論文のテーマと異なっても構いません)。ポスターは、模造紙(畳1畳より少し小さめの白紙)で、1人1枚製作していただきます。ポスターに貼付けする素材(写真・図面など)は本学図書館の書籍から複写して準備することもできますが、あらかじめ準備しておくことができれば、ポスター製作がより円滑になるでしょう。

事後学習として、学んだことと配布資料を元に卒業論文の執筆に活かしてください。

フィードバック

ポスターの内容について講評する。

評価方法・基準

ポスター発表を重視した総合評価とします。

授業概要

文化財学演習Ⅱは、卒業論文を執筆するための基礎演習です。3日間で集中して、講義・実習・発表を行います。見て学ぶ、実際に体験する、考えをまとめて発表する、という主体的な取り組みが授業の中心になります。いずれも楽しく積極的に受講生が参加することを期待しています。

講義では、考古学に関する基本的な考え方や分析法について解説し、合わせて卒論に向けてモノの記録の基礎である写真撮影法やスケッチ記録法を解説し、実際に体験していただきます。

出土遺物の観察では、縄文土器の施文原体を復元製作し、本物の縄文土器と比較して観察の基本を学びます。さらに、縄文土器の拓本と実測にチャレンジして、論文に必要な図の作成方法を習得します。

文献調査実習では、大学図書館で関連する報告書や論文を実際に探して先行研究を把握します。

ポスター発表では、卒業論文に向けた取り組みを報告し議論します。

なお、文化財学演習Ⅱは文化財学演習Ⅰより先に受講しても後に受講してもかまいません。

授業計画

<1日目>

午 前 総論－考古学で何がわかるのか－(講義)
午 後 考古学の実践法入門－記録のとりかたの基本－(講義と作業)
座談会(自己紹介)※班に分かれて行います

<2日目>

午 前 縄文原体の復元製作、出土遺物(縄文土器)の観察・記録の実習
午 後 午前の続きと文献調査を班別に実施

<3日目>

午 前 ポスター製作
午 後 ポスター発表・討論

<テキスト>

初日にレジュメを配布予定。

文化財学演習Ⅲ

科目担当者： 魚 島 純 一
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 専門科目
配 当 年 次： 4
科目ナンバリング： L2S401

テーマ

これまでの経験や知識や技術を生かして、文化財の研究に挑戦することが演習のテーマです。

到達目標

文化財学の研究方法を学びながら、卒業論文の主題を決めて研究を具体的に進めます。

事前・事後学習

事前学習：各自の研究したいことをなるべく詳しく自分なりに整理しておいてください。

研究レジュメ案の基礎となるように、①研究の題目案、②研究の目的、③研究計画の概要、④参考にした文献、⑤その他関心のあることなどを自分なりに考えておいてください。

その上で、スクーリングの受講までに研究レジュメ案（写真や図表などを加えた分かりやすいレジュメ）を作成し、スクーリング1日目の朝、必ず持参してください。

研究レジュメ案には学籍番号・氏名を明記の上、A4の用紙4枚以内（写真や図表などを含む）で、①論文の題目案、②研究の目的、③研究計画の概要、④基礎となる参考文献を記載してください。

（各自が持参した研究レジュメ案は、通信教育部事務室でコピーして、スクーリング1日目午後に受講生に配付します。）

事後学習：演習中に紹介された各自の研究に関連する文献を図書館などで調べてください。

フィードバック

授業中の発表時に、担当教員がその場でコメントし評価します。

評価方法・基準

研究目標をしっかりとたてて、研究の方法や理論をマスターし、個人研究を進めていける自信ができたら合格です。研究レジュメ案、研究発表内容で評価します。

授業概要

この演習は文化財歴史学科のうち考古学や文化財科学など物的資料に軸足をおいた「文化財学」を専攻して卒業論文を書く受講生のための授業です。具体的には、文化財科学や保存科学の研究法を紹介すると共に、各人が卒業論文にむけて、論題の決め方、論文の組み立て方、研究の方法などを実践的に学びます。

授業計画

<1日目>

午 前：受講生全員が自己紹介をおこない、卒業論文のテーマについて簡単に紹介します。

本学に設置した文化財科学調査機器の見学を行います。

午 後：各自が持参した研究レジュメ案をもとに受講生全員が研究発表を行います。

発表時間は20分程度です。発表・ディスカッションを経てさらなる研究の向上を目指します。

<2日目・3日目>

受講生全員が研究発表を行います。

<テキスト>

テキストは使用しません。適宜、プリントを配布します。

日本史特殊講義

科目担当者： 寺 崎 保 広
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 専門科目
配 当 年 次： 3～4
科目ナンバリング： L5S301

テーマ

日本古代の史料を読む。

到達目標

日本古代史の代表的な史料について概略を理解し、漢文史料の読解に慣れることをめざす。

事前・事後学習

事前学習：事前送付史料を、漢和辞典を引きながら予習してくること。
事後学習：スクーリングで配布した史料を基に、復習すること。

フィードバック

授業終了後に、質問に応じる。

評価方法・基準

最終日に、筆記試験を行う。

履修上の注意事項等

漢文史料なので、辞典をマメに引くことが上達の秘訣である。

授業概要

取りあげる各種の史料について、それぞれ解題・史料の特徴・従来の研究などを紹介し、例文を読んでゆくこととする。授業は講義形式で教員が説明するので、受講生に読んでもらうことは原則としてしない。

授業計画

<1日目>

古事記
日本書紀
続日本紀

<2日目>

養老令
類聚三代格
延喜式

<3日目>

その他の史料
筆記試験

<テキスト>

史料の一部を事前に送付し予習してもらうこととし、当日はその他にレジュメを配布する。

考古学特殊講義

科目担当者： 相 原 嘉 之
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 専門科目
配 当 年 次： 3～4
科目ナンバリング： L5S302

テーマ

考古学から探る「日本国」誕生の歴史

到達目標

7世紀における国家形成の歴史について理解する。

事前・事後学習

事前に、講義や学外授業で巡見する遺跡等について調べ、予習しておいてください。
受講後は、学んだことを復習すると共に、国家形成過程の歴史について深く考えてください。

フィードバック

授業終了後に、質問に応じる。

評価方法・基準

最終日にレポートを課し、その内容によって評価する。

履修上の注意事項等

事前・事後の自主学習が必要である。これによって、考える力を養う。

授業概要

飛鳥には宮殿・寺院・古墳など、様々な種類の遺跡がある。いずれも国家形成の過程を示す重要な遺跡群で、これらを理解することにより、「日本国」誕生の歴史が解明できる。授業では、飛鳥を題材に、国家形成過程についての講義を行う。

本科目では、担当者が奈良文化財研究所、滋賀県・明日香村の調査機関・文化財保護行政に携わった経験を活かして講義を行う。

授業計画

<1日目>

午 前：概説と飛鳥の諸宮
午 後：飛鳥の寺院と古墳

<2日目>

終日、現地巡見（飛鳥地域の遺跡）

<3日目>

午 前：飛鳥の遺跡についての最新テーマでの講義
午 後：まとめとレポート

<テキスト>

講義・巡見に関するプリントを配布。

美術史特殊講義

科目担当者： 原 □ 志津子
単位数： 2単位
科目区分： 専門科目
配当年次： 3～4
科目ナンバリング： L5S303

テーマ

日本美術史の研究。

到達目標

作品の特徴を確認し、美術史上の位置付けを理解する。

事前・事後学習

事前学習：可能な範囲で学外授業時の見学先について、調査・研究をしておくこと。
事後学習：学んだことをふりかえること。

フィードバック

学内での講義では、毎時、講義の最後に質問等に応じる。学外での講義（2日目午前）では、随時、質問等に応じる。

評価方法・基準

講義中にいくつかの課題を出す。課題に対する解答内容を基に総合的に評価をする。

授業概要

初日は美術史の方法論と絵画作品の見方について学ぶ。また美術史を学ぶためには、本を読んだり、講義を聴いたりするだけでは不十分であり、実際に美術作品を見る必要がある。このスクーリングでは、2日目午前に実地見学を行うこととし、帰学後は、実地見学に基づき、作品の見方を学ぶ。

3日目は、絵画表現の特質について講義する。

授業計画

<1日目>

美術史の方法論と絵画作品の見方の講義。

<2日目>

午前は学外授業。大和文華館を見学する（予定）。午後は、作品鑑賞体験を言語化する。

<3日目>

絵画作品の見方を講義する。

<テキスト>

指定なし。プリントを配布する。

<注意事項>

可能な範囲で、地元博物館、美術館等においても美術工芸品を見る機会を作るようにしてほしい。

奈良文化論

科目担当者： 光 石 亜由美・木 田 隆 文
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 専門科目
配 当 年 次： 1～4
科目ナンバリング： L5S101

テーマ

奈良県の文化風土について。

具体的には、奈良・大和を舞台にした日本近現代文学作品を介して、文化風土の構成要因などにも触れつつ、作品の中に奈良がどのような様相で描かれているかを考察する。

到達目標

1. 文学作品を生んだ奈良の文化的風土を理解する。
2. 文学作品の中に奈良がどのように描かれているのかを理解する。

事前・事後学習

事前学習としては、奈良の近現代文学について、可能な範囲で学習しておくこと。

事後学習としては、授業で取り上げた作品、参考文献を読み直し、理解を深めること。

フィードバック

3日目の最後の時間に授業全体のまとめを行う。その際、3日間の授業内容にかかわる質問を受け付ける。

評価方法・基準

評価は3日目に実施する「単位認定試験」の結果による。

以下3つの評価ポイントを総合的に評価する。

1. 授業内容が理解できているか。
2. 授業内容をいかに主体的に展開・発展できているか。
3. 答案が論理的に構成されているか。

授業概要

奈良には長い歴史の中で培われ育まれた伝統や伝承があり、歴史を跡付ける有形無形の遺跡や遺産がある。授業では奈良を描いた日本の近現代文学を紹介し、解説しながら、現代社会における奈良の意味や意義などにも触れてゆきたい。

授業計画

<1日目>

午前：近現代文学と奈良（概説）
午後：近現代文学と奈良（各論）
学外授業のための事前講義

<2日目>

学外授業：奈良公園を中心に、文学作品の舞台、歌碑・句碑などをめぐりながら、作品の背景、奈良の文学的風土を解説する。

<3日目>

午前：近現代文学と奈良（各論）
午後：単位認定試験と授業全体のまとめ

<テキスト>

授業時にレジュメを配布する。

<参考書>

書 名 『文学でたどる世界遺産 奈良』
編 者 浅田隆／和田博文
出版社 風媒社
発行年 2002年

<参考書>

書 名 『古代の幻 日本近代文学の奈良』
編 者 浅田隆／和田博文
出版社 世界思想社
発行年 2001年

<参考書>

書 名 『奈良大ブックレット 08 奈良の文学とことば』
出版社 ナカニシヤ出版
発行年 2020年

参考書は絶版のものがあります。古本や近隣の図書館、奈良大学図書館等で探してください。

<注意事項>

2日目の学外授業では、歩きやすい恰好で参加すること。また、天候の関係で授業内容を変更することがある。

神話伝承論

科目担当者： 鈴 木 喬
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 専門科目
配 当 年 次： 1～4
科目ナンバリング： L5S102

テーマ

神話とはいかなる伝承であるか、『古事記』神話を通して考える。

到達目標

『古事記』神話とは何かを各自説明することができる。

受講生が『古事記』の神話を通じて、日本文化、日本人について個別に考える力を身に付けることができる。

事前・事後学習

事前学習：テーマに関連したもの、該当する『古事記』の箇所を読むこと。

事後学習：テキストの現代語訳を読み、授業で取り上げた内容を復習しておくこと。

フィードバック

授業時に小レポートの講評をし、また適宜、質疑応答の時間を設ける。

評価方法・基準

授業時の小レポートおよびテーマに関連したレポートにより総合的に評価をする。

履修上の注意事項等

テキストや配布プリントを読み込んで出席すること。テーマに関することについて自分なりの視点をもって受講して欲しい。また学外授業を含め、万全の態勢で講義にのぞめるよう、体調を整えること。

授業概要

そもそも「神」や「神話」とはなにか、「伝承」とはなにか、そのような概念規定から、『古事記』序文の内容を通して7・8世紀の＜神話＞が語る歴史、『古事記』とは何かを学ぶ。また国土形成や黄泉国訪問の神話から、「神話」が語るものから何が見えるか考えていく。

授業計画

＜1日目＞ 神話資料としての『古事記』をどう考えるか

午 前：「神話」とは何か、「伝承」とは何か
午 後：『古事記』序文が示すもの

＜2日目＞ 国土形成神話をよむ

午 前：世界のはじまりと、国土の成り立ち
午 後：学外授業（平城宮跡を予定）

＜3日目＞ 黄泉国訪問の神話をよむ

午 前：黄泉の国とは
午 後：「よみがえり」と三貴子の誕生

＜テキスト＞ ※授業時に配布します

『神話伝承論ノート』、神話伝承論学習の会、書肆アルス、2013年
補助教材として適宜、プリントを配布。

歴史地理学

科目担当者： 土 平 博
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 専門科目
配 当 年 次： 3～4
科目ナンバリング： L5S304

テーマ

近世村落の研究

奈良盆地の近世村落を対象にして、絵図および関連史料の分析から地域の紐帯を考える。

到達目標

絵図史料の客観的な分析とフィールドワークの重要性を認識しつつ、奈良盆地における村落社会の構造と地域の特徴を理解する。

事前・事後学習

事前に地図で奈良盆地の範囲を確認しながら概観をつかんでおく。事後は、奈良盆地内外で授業の内容と関わる事例を自らみつけて比較検討してみる。

フィードバック

期間中、質疑応答の時間を随時設定し、授業内容に関する基礎的な内容から発展的な内容に至るまで、個人的な質問の場合はその受講生に対して、受講生全体に関わる内容であれば全体に対して、授業時間中ならびにその前後の時間に回答する。また、質問内容によっては期間外に回答することもある。

期間中、実習作業をともなった課題を提出していただき、期間中に返却する。また、3日目にはまとめとして確認テストを実施し、その結果によってはコメントを加えることがある。

評価方法・基準

スクーリング1日目および2日目の課題および3日目に実施する確認テストの結果による。

履修上の注意事項等

まずは、史料の大切さを認識して原本に接していただきたい。史料の分析や現場での観察を通じて、「もの」や「場所」に対して素直に向き合い、その地域の論理を大切にしながらイメージや想像だけに頼らない姿勢で授業に臨んでいただきたい。

授業概要

はじめに、歴史地理学で取り扱う研究対象について他分野と関連させながら概説する。そのあと、歴史地理的な諸事象のうち、農業水利の問題についてとりあげる。かつて、奈良盆地の村落は厳しい諸条件のもとで農業用水を確保しなければならなかった。この講義では、地理学的な見地から近世史料（絵図史料や文書史料）を通して、過去の農業用水確保の実態を明らかにするとともに、水論について紹介する。また、長い年月の間に構築されてきた水利システムと村落結合を考える。さらに、現地見学を行うことによって水利からみた奈良盆地内の地域的特性について理解を深める。

授業計画

＜1日目＞

1 「歴史地理学」の概説

①研究体系

「歴史地理学」について隣接分野である歴史学、考古学などと関連づけて概説する。

②研究対象

研究対象となりえる事象について概説する。

2 水利と水論

主に奈良盆地を事例にしながら以下のことについて説明する。

①奈良盆地の農業的地域性

②水利システムの構築と水論発生の要因

3 現地見学を実施するための事前準備

2日目に実施する現地見学を行う前に、史（資）料の取り扱い方法やフィールド調査の方法について説明する。

①史（資）料の取り扱い

②フィールド調査法

<2日目>

現地見学—現地で理解を深める—

行き先：奈良盆地西南部<葛城山東麓>

葛城市歴史博物館・葛城川流域の農村地域

午 前：絵図史料の熟覧

午 後：簡単なフィールド調査実習

<3日目>

1 現地見学で得た資料の整理

2 まとめ—葛城山麓の水利システムと村落結合—

<テキスト>

レジュメを配付する予定。

仏教考古学

科目担当者： 狭 川 真 一
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 専門科目
配 当 年 次： 1～4
科目ナンバリング： L5S103

テーマ

古代寺院と葬送墓制の仏教考古学

到達目標

考古学資料を中心に日本の仏教文化を理解する。

事前・事後学習

事前学習として、仏教用語を理解できるような書籍（一般向けで十分）を読み、関連資料を眺めて仏教文化に親しむようにすること。

事後学習として、古代から中近世に建立された寺院をはじめ多くの仏教関連遺跡に機会あるごとに出かけ、実物を観察して理解を深めるようにすること。

フィードバック

授業終了後しばらくは教室に残りますので遠慮なく質問に来てください。また質問票を通信教育部事務室に提出していただければ、通信教育部事務室を通して文章で返答します。

評価方法・基準

テーマに関連したレポートにより評価します。

履修上の注意事項等

資料の概要を解説するような講義は少なめに、できるだけ資料の語るところをお届けしたいと考えています。また、自分自身でもそれぞれの資料の語りについて耳を傾ける努力をしてほしいと思います。

授業概要

私たちの周囲には仏教的な資料が溢れています。その中で最も身近に存在する寺院と墓を中心にテーマを設定し、授業を行います。寺院関係では寺の建物配置（伽藍配置）について解説した後、平城京内に配置された寺院について考えます。また寺院関連事項として古代における仏塔の存在意義は大きく、その種類や構造について概説します。

次に葬送墓制では、古代から中世を中心に宗教的観点に立脚して概説し、仏教色の有無についても考えます。また各論として石塔（これは仏塔の延長上にあります）、経塚、仏具（梵鐘）についても言及し、仏教関連の遺構や遺物を理解するとともに歴史的な位置付けも考えてゆくようにいたします。

本科目は、担当者が埋蔵文化財だけでなく、その他の分野（古文書・美術・民俗）との総合調査で得た経験を活かして、文化財に対する視点・視線を中心に講義します。

授業計画

<1日目> 仏教考古学概説 寺院の考古学

- 午 前：伽藍配置の諸問題
平城京と寺院
- 午 後：古代仏塔の成立と伝播
中世石塔の種類とその変遷

<2日目> 葬送墓制の考古学

- 午 前：古代墳墓の様相（奈良時代の火葬墓）
古代墳墓の様相（平安時代貴族の墓）
- 午 後：中世墳墓の様相
納骨信仰の考古学

<3日目> 仏教考古学各論

- 午 前：古瓦（瓦当文様）の語り
- 午 後：経塚の考古学
梵鐘の考古学

文化財修復学

科目担当者： 山 内 章
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 専門科目
配 当 年 次： 3～4
科目ナンバリング： L5S305

テーマ

板絵と社寺建造物彩色の保存修復と調査

到達目標

1. 江戸時代初期から明治時代初期までの絵具画材について、種類・内容・使い方を習得する。
2. 膠彩色の剥落止め処置材料の変遷を学び、剥落止め処置の原則と基礎的な技術を実習する。
3. 社寺建造物彩色の調査と価値付け及び、様々な修復方法について学習する。

事前・事後学習

1. 事前に、お近くの寺社などの建造物彩色を見ておくこと。
2. 事前に、図録や調査報告書で江戸時代の杉戸絵や絵馬、狩野山楽他江戸時代初期の絵画や葛飾北斎晩年の肉筆作品を見ておくこと。
3. 事後に、授業で紹介した社寺建造物彩色や壁画等を拝観し、授業で学習した内容を確認すること。

フィードバック

授業中適時、質疑応答の時間を設け、質問等に応じる。

評価方法・基準

スクーリング最終日に作成するレポートで評価する。

履修上の注意事項等

膠絵具の彩色と剥落止め実習を行うので、汚れてもよい服装で受講し、手洗い後のタオルを持参すること。

授業概要

1. 狩野山楽の板絵や、葛飾北斎著「絵本彩色通」を参考に、江戸時代初期から明治時代初期までの絵具と絵具固着材の膠について学習し、基礎的な絵具の使い方を実習する。
2. 板絵や社寺建造物彩色の剥落止め処置の変遷について学習し、基礎的な修復実習を行う。
3. 社寺建造物の調査と様々な修復方法（剥落止め・クリーニング・補彩・復原彩色・白線描模写・剥ぎ取り）をスライドで紹介し、修復の原則・修復工程と処置材料・保存修復報告書の作成等について学習する。

本科目では、担当者が文化財保存修復の実務経験と日本唯一の薬品類不使用の膠の製造実績を活かして、講義を行う。

授業計画

＜1日目＞

- 午 前：江戸時代初期から明治時代初期までの絵具について学習（スライドとレジュメによる座学）
午 後：①膠について学習（スライドとレジュメによる座学）②膠絵具の彩色実習

＜2日目＞

- 午 前：板絵の破損劣化についての学習と膠絵具の剥離剥落疑似サンプル作製（座学と実習）
午 後：①剥落止め処置材料の変遷と修復処置について学習（スライドとレジュメによる座学）
②基礎的な剥落止め処置の実習

＜3日目＞

- 午 前：社寺建造物彩色の調査と様々な修復方法について学習（スライドとレジュメによる座学）
午 後：①様々な修復方法について学習（スライドとレジュメによる座学）、②レポート作成

＜テキスト＞

レジュメを受講時に配布する。

<自由選択科目>

地理情報システム (2024年8月23日～8月25日 開講分)

科目担当者： 酒 井 高 正
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 自由選択科目
配 当 年 次： 3～4
科目ナンバリング： E1S301

テーマ

地理情報システム入門

到達目標

地理情報システムの基本知識と基礎技能を習得する。

事前・事後学習

Windows の基本操作（ウインドウの開閉、ファイルの保存など）と日本語入力（ローマ字かな漢字変換）に慣れておくこと。

フィードバック

授業時の実習の成果や練習問題の解答をその都度 e ラーニングシステムを通じて提出してもらったうえで、授業期間内に解答例や講評を示す。授業期間後に各自の学習や研究で GIS を活用する際には、通信教育部事務室を通じて質問や相談に応じる。

評価方法・基準

授業中の作業課題の内容を中心に評価を行う。

履修上の注意事項等

授業時に使用するパソコンや e ラーニングシステムにログインする際に必要な利用者 ID とパスワードは WEB ポータルシステムのもものと共通なので、適切に管理すること。

授業概要

地理情報システム (GIS) とは、コンピューター地図に地域情報を重ねて統合的に処理する仕組みである。この分野は関連する学問領域も幅広く、その内容は非常に多岐にわたるが、本科目では初学者の受講を念頭に置き、文化財や歴史の学習や研究の役に立ちそうな地理情報システムの基本知識を学ぶ。パソコン実習を併用し、基礎技能についても身につける。

授業計画

<1日目>

まず、紙地図とコンピューター地図の両方を含めて、近年の地図に関する基本知識を整理する。続いて国土地理院 WEB サイトの「地理院地図」を用いて、実際にコンピューター地図に触れる。

<2日目>

「地理院地図」や「Google Earth」などの様々な機能を用いて、標高データから鳥瞰図を描いたり、様々な情報の地図を重ね合わせる実習を行い、GIS のデータ処理の基本的な仕組みを学ぶ。ダウンロードした空中写真を立体視用に加工する実習も行う。

<3日目>

統計局の WEB 版統計 GIS 「jSTAT MAP」の基本的な仕組みと操作法を学ぶ。さらに、「jSTAT MAP」を用いて歴史や文化財の分野も含む様々な地域データを地図に表現する方法を習得する。

※この分野に関する情報は日進月歩であるため、新しい動向に対応して授業計画の内容を調整することもある。

<テキスト>

使用しない。必要な資料は授業時に印刷物あるいは e ラーニング教材のかたちで配布する。

<参考書>

参考資料を授業時に印刷物あるいは e ラーニング教材のかたちで配布するほか、参考図書やインターネット上の資料などは適宜紹介する。

<自由選択科目>

地理情報システム（2025年2月14日～2月16日 開講分）

科目担当者： 芝 田 篤 紀
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 自由選択科目
配 当 年 次： 3～4
科目ナンバリング： E1S301

テーマ

地理情報と GIS（地理情報システム）の基礎

到達目標

地理情報に関する理解と GIS の基礎知識・技能の習得

事前・事後学習

事前：コンピューターの基本的な操作方法
事後：実習、演習内容の復習

フィードバック

授業内で課題解説を行う。また適宜、質疑応答の時間を設ける。

評価方法・基準

授業で提出する課題、最終日のレポートで評価する。

履修上の注意事項等

授業で使用するパソコンや e ラーニングシステムにログインする際に必要な利用者 ID とパスワードは、WEB ポータルシステムのもものと共通なので、適切に管理すること。

授業概要

身近な地理情報から GIS（地理情報システム）の基礎を学習し、WebGIS、GNSS や LiDAR について、近年の動向と合わせて学んでいく。実習や演習をしながら基礎技能についても身につける。

授業計画

<1日目>

午 前：地理情報システムについて
午 後：WebGIS（マップサービス）の利用

<2日目>

午 前：様々な測量方法について
午 後：GNSS や LiDAR の利用

<3日目>

午 前：地図投影法や座標系、測地系について
午 後：GIS を用いた地図とレポートの作成

<テキスト>

レジュメを印刷物あるいは e ラーニング教材のかたちで配布するほか、参考図書やインターネット上の資料などを適宜紹介する。

<自由選択科目>

心理学基礎 (2024年8月30日～9月1日 開講分)

科目担当者： 太 田 仁
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 自由選択科目
配 当 年 次： 1～4
科目ナンバリング： E1S101

テーマ

対人関係の心理学

到達目標

心理学の知識を日常生活に活かす。

事前・事後学習

事前：日常の対人関係の悩みや期待について3個以上まとめておくこと。
事後：授業間や授業後に「これって……」と、学んだ内容の適用を試みること。

フィードバック

3日間、受講者からの質問に応える形で授業を進める。また、授業後には個別の質問を受け付け、3日目の最後にまとめるを行う。

評価方法・基準

対人関係の悩みや期待についての理解と授業中の課題への取り組みにより総合的に評価する。

履修上の注意事項等

これまで、対人関係で悩んだり失敗した経験のある人に履修してほしい。

授業概要

本授業では、「心」を人と人の間に介在する絆と想定した対人心理学を基礎として、その日常生活への適用を試みる。具体的には、友人、恋人、家族、の対人心理学を3日間にわたり、思春期・思秋期・向老期の発達境界別に対人心理学の最前線の知見の適用を試みる。

授業計画

<1日目>

午 前：友人関係の心理学；知り合いから仲間へそして親友への過程について概説する。
午 後：思春期・思秋期・向老期の友人関係の特徴と個人の心身の健康に寄与する関係性について考える。

<2日目>

午 前：恋愛関係の心理学；好意と恋の違い、そして恋愛のプロセスについて概説する。
午 後：思春期・思秋期・向老期の恋愛関係の特徴と個人の心身の健康に寄与する関係性について考える。

<3日目>

午 前：家族関係の心理学；家族が個人に与える影響過程について「愛着」をテーマに概説する。
午 後：思春期・思秋期・向老期の家族関係の特徴と個人の心身の健康に寄与する関係性について考える。

<テキスト>

レジュメを配布する予定。

<参考書>

太田仁監修、阿部晋吾編『支えあいからつながる心』（ナカニシヤ出版）

<自由選択科目>

心理学基礎 (2025年3月7日～3月9日 開講分)

科目担当者： ト 部 敬 康
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 自由選択科目
配 当 年 次： 1～4
科目ナンバリング： E1S101

テーマ

心理学の考え方をを用いて、人間と社会について考える。

到達目標

人間の特質と現代日本社会の問題点を心理学の理論ないしデータに即して理解する。

事前・事後学習

事前学習：人間の特徴は何であるかについて、漠然とでもよいので考えてみてください。それを念頭に置いて、講義に臨んでください。

事後学習：講義内容を自らの身近な生活に即して考えてみること。

フィードバック

3日間の授業中、適宜、質問に応じます。

評価方法・基準

スクーリング最終日に行う試験で評価する。

授業概要

心理学をはじめて学ぶ人を対象として、心理学の基礎を概括する。心の科学としての心理学がどのようにして成立したかという心理学の歴史からはじめ、多岐にわたる心理学の領域を紹介したうえで、それぞれの分野の代表的な研究とその考え方を紹介する。心理学は分野によって研究方法が大きく異なる。限られた時間の中でそうした心理学の各領域を「広く浅く」扱うことになるが、心理学の多様性を通して人間が一つの捉え方では掴みきれない存在であることを示したいと担当者は考えている。心理学に対する「よくある誤解」にもこたえながら、ともすれば私たちが陥りがちな人間への独断と偏見からの脱却をはかりたい。

授業計画

各日、おおよそ以下の内容で進めますが、全てを網羅することは難しいと思いますので、社会問題の動向や受講生の関心等によって、適宜取捨選択します。

<1日目>

心理学への入門として、心理学にどのような分野があり、その成果がどのような方面で応用されているかについて述べる。次に、条件づけや錯視のしくみなどを解説しながら、心理学の歴史を紹介する。それらをふまえたうえで、学習・知覚・認知・臨床の各分野の研究成果を紹介し、社会福祉など対人援助における心理学の応用について述べる。

<2日目>

前半は発達・教育分野の代表的な知見を紹介し、教育プロセスへの心理学の貢献について考える。具体的には、幼児期の発達、青年期の諸問題、欲求と動機づけについての理論などを紹介したうえで、それらの教育への応用と昨今の少年問題の捉え方や現代日本の学校教育の問題点を扱う。後半は、一般によく誤解されている性格の概念と性格検査について、詳しくとりあげる。

<3日目>

私たちは社会の中で暮らしており、たとえ一人でいるときでも他者の存在を前提として過ごしている。人間は居ながらにして他者から影響を受け、また他者に影響を及ぼす存在である。こうした人間の社会的側面について述べる。また、私たちが「あたりまえ」と思っていることも文化背景の異なる人々には「異様なこと」であるということがあがるが、そうした文化の多様性についてもとりあげる。時間の許す限りで、以上の知見を用いて現代日本社会の問題点について述べ、心理学の社会的応用の可能性について考察したい。

<テキスト>

レジュメを配布する予定。

<参考書>

ト部敬康・林理（編）『常識の社会心理：あたりまえは本当にあたりまえか』（北大路書房）
林・長谷川・ト部（編）『職員室の社会心理：学校をとりまく世間体の構造』（ナカニシヤ出版）
林理『しきり』の心理学：公式のリーダーと非公式のリーダー』（学陽書房）

社会学基礎

科目担当者： 吉 村 治 正

単 位 数： 2単位

科 目 区 分： 自由選択科目

配 当 年 次： 2～4

科目ナンバリング： E1S201

テーマ

社会学の基礎について

到達目標

社会学の基礎的知識の習得と社会学的想像力の養成。

事前・事後学習

予習は特に必要としないが、3日間の授業の最後に提出してもらう課題に備え、1日目・2日目の復習はきちんと行っておくように。

フィードバック

3日間の授業中、適宜、質問に応じる。

評価方法・基準

講義中に課題を与える。この内容を基に評価を行う。

授業概要

世の中の「常識」を突き詰めて考えていくと、意外なほど根拠がないことが多い。私たちの住むこの世の中は、いかにあやふやな基盤の上に成り立っているのだろうか。行動の合理性という基準から順序立てて人間の行動を改めて分析すると、私たちの住む世の中（社会）の意外な姿が見えてくる。この授業では、その面白さを知ってもらいたい。

授業計画

<1日目>

- ・電卓とパソコンの違い
- ・犯罪は合理的行動か？

<2日目>

- ・サザエさんはおかしい家族
- ・女が大学に行くから少子化が起こるのか

<3日目>

- ・風太郎→プータロー→フリーター
- ・貧者は都会に潜む

<テキスト>

使用しない。

<参考書>

授業中に適宜紹介。

<自由選択科目>

経営学基礎 (2024年8月9日～8月11日 開講分)

科目担当者： 尾 上 正 人
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 自由選択科目
配 当 年 次： 1～4
科目ナンバリング： E1S102

テーマ

経営学の基本的な考え方を学ぶ。

到達目標

経営学の基本的な考え方をを用いて、具体的な企業事例が分析できるようになる。

事前・事後学習

事前学習として、経営学の基本的な文献に目を通しておくことが望ましい。

事後学習として、講義で得た知見を手がかりにして、日々の産業・経済ニュースを読み解くことに挑戦していただきたい。

フィードバック

授業中にレポートを課し、希望者には講評を記したものを返却している。

評価方法・基準

講義中にいくつか課題を出す。その内容を基に総合的に評価する。

授業概要

この授業では、経営学の基本的な考え方について学ぶ。我が国の企業（会社）が、今日置かれている状況についての認識を深めるために、企業（会社）を取り巻く外部環境と内部環境、制度の設計、経営戦略や革新などについて、いくつかのテーマを取り上げて、考えていく。

全体的な考え方を基礎として、具体的に組織と管理の問題を考え、さらにその視角に基づいて、各事業活動の位置づけと、その活動内容、及び、そこにおける具体的な問題を考えていく。

3日間の講義を通じて、経営学とその基本的な考え方がどのように生まれてきて、どのように実際に使われ、どのような成果を上げてきたのか、そして、その考え方を各自が使えるようになれば、どのような結果を生み出すことができるのかを考えたい。経営学の考え方は、理論であると同時に、「ヒト」、「モノ」、「カネ」、「情報」という具体的な、もっとも身近な事象について、実践できるかどうかを問うものである。

授業計画

<1日目>

まず、経営学とは何かについて、経済学など他の学問分野と比較しながら論じます。次に、経営学の2つの柱と言ってよい経営戦略と企業組織について、フォードとゼネラルモーターズ（GM）、マクドナルドとモスバーガーなどのビジネスモデルを対比しながら、わかりやすく論じます。そして、企業経営の中心人物である経営者について、経営学が「企業家（企業者）」と定義する時にどのような意味が込められているか、「マネジャー」とはどう違うのかについて明らかにします。

<2日目>

まず、日本の経営の特徴と言われている「三種の神器」（終身雇用・年功序列型賃金・企業別組合）について、企業社会への「入り口」である就職の観点から論じます。次に、「出口」である定年の日本の特徴を、近年の少子高齢化問題と関連付けて考えます。さらに、日本の企業社会の主要な構成員となりつつある女性労働力について、国際比較や歴史的な視点から論じます。

<3日目>

最終日は、企業経営の現代的な諸問題を取り上げます。まず、一連のライブドア事件や村上ファンド・外資系ファンドの活動により日本でも巷の話題となった企業統治（コーポレート・ガバナンス）の問題を考えます。次に、1980年代からの日本企業の国際化や、世界経済と企業経営の金融化（フィナンシャルイゼーション）の実態に迫ります。最後にまとめとして、日本企業の針路を展望します。

<テキスト>

テキストは使用しないが、経営学に関する基本的な教科書に目を通しておくことが望ましい。例えば、榊原清則『経営学入門 [上] [下]』（日経文庫）など。

<自由選択科目>

経営学基礎 (2025年3月7日～3月9日 開講分)

科目担当者： 倉 光 巖
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 自由選択科目
配 当 年 次： 1～4
科目ナンバリング： E1S102

テーマ

経営学の主要な学問分野である「経営管理」、「経営戦略」そして「企業会計」をもとに経営学を学ぼう。

到達目標

経営学の主要な分野を学び、企業行動が理解できるようになることを目標とします。

事前・事後学習

事前学習：受講1ヶ月程度前からNHK時事公論を視聴することや日経新聞に目を通しておくことが望ましい。

事後学習：講義で得た知見をもとに、日々の経済や企業活動のニュースを深読みできるようになることで、理解度アップを確認していただきたい。

フィードバック

授業時の質疑応答、簡易テスト、ディベートにより各人の理解度を確認します。

評価方法・基準

講義中の最後の課題で理解度を確認し、総合的に評価します。

授業概要

本科目では、担当者がものづくりの現場での永年の実務経験や企業経営に携わった知見を活かして、経営学の講義を行います。

授業において、経営学の基本的な考え方が、どのように生まれ進化してきたか、そしてそれらが実際にどのように使われているかを講義します。

企業を取り巻く外部環境の変化が経営戦略および組織改革などの企業行動にどのようにつながっていくかも考えていきます。

※対面の場合、WEBの場合ともに若干の内容変更があります。

授業計画

<1日目>

午 前：企業の組織と企業行動（1）

午 後：企業の組織と企業行動（2）

皆さんが日頃、ニュースなどで耳にする企業の組織について、成り立ちや現在の企業の中での働きなどを講義します。

<2日目>

午 前：企業の組織と企業行動（3）

午 後：事例を用いたディスカッション

皆さんが日頃、ニュースなどで耳にする企業行動について、企業戦略の視点から、最新のトピックスも交えて解説します。

講義時の状況により、グループ・ディスカッションを行う予定です。

<3日目>

午 前：企業の組織と企業行動（4）

午 後：まとめ

組織が行動するときの基本原則を考えます。

<テキスト>

レジュメを配布予定。

臨床心理学

科目担当者： 鈴木 孝・武本 一 美
単位数： 2単位
科目区分： 自由選択科目
配当年次： 3～4
科目ナンバリング： E1S302

テーマ

臨床心理学とはどのような学問か。

到達目標

臨床心理学の基礎知識を習得し、“心”を理解する力を身につける。

事前・事後学習

可能な範囲で「臨床心理学」関連の書籍に目を通しておくこと。
授業時の配布プリントを通して復習すること。

フィードバック

3日間とも、その日に学んだことや講義内容への質問等をレポートとしてまとめ、提出することを求める。質問に関しては3日間の授業の中で適宜、個別もしくは全体にフィードバックし、臨床心理学に対する理解を深める。

評価方法・基準

授業への積極的参加。講義内で提示するレポート課題に基づく。

授業概要

臨床心理学は、人間の心理的な発達、適応、自己実現などの援助に関わる心理学の一領域である。本科目では臨床心理学の全体像について概説する。まず、臨床心理学の定義、成り立ち、主要な理論とアプローチ、自己理解について学ぶ。次に主要な精神障害や不適応の診断基準、生物学的背景、臨床心理学からの理解と支援について学ぶ。最後に、臨床心理の専門職としての業務内容、特に福祉分野や教育分野などでの実践について概説する。また、公認心理師や臨床心理士の資格についても言及する。

本科目では、担当者が心理専門職や精神科医として各種相談機関でアセスメントや相談面接に当たってきた知見をもとに、臨床心理学について講義を行う。

授業計画

<1日目>

- (1) 臨床心理学とはどのような学問か
- (2) 歴史と主要な理論
- (3) 自己理解としての臨床心理学

<2日目>

- (1) うつ病の理解と心理的支援
- (2) 社交不安の理解と心理的支援
- (3) 強迫症の理解と心理的支援

<3日目>

- (1) 福祉分野での心理的支援の実践
- (2) 教育分野での心理的支援の実践
- (3) 臨床心理専門職の資格と業務内容

<テキスト>

テキストは用いないが、必要な資料を配布する。

<参考書>

授業中に紹介する。

情報処理

科目担当者： 正 司 哲 朗
単 位 数： 2単位
科 目 区 分： 自由選択科目
配 当 年 次： 2～4
科目ナンバリング： E1S202

テーマ

情報セキュリティや仮想通貨の基礎、遺跡・遺物のデジタル測量技術の基礎

到達目標

インターネットの発展や歴史を学ぶとともに、情報セキュリティや仮想通貨の基礎知識を習得する。さらに、遺跡・遺物のデジタル測量の基礎知識を学ぶ。

事前・事後学習

レポート作成は Word で行うため、Windows の基礎の基本操作（ファイルコピー、マウス操作）、日本語入力に慣れておくこと。（なお、手書きレポートでも可）

事後学習として、情報セキュリティについて復習し、インターネット利用において実践すること。また、授業で学んだ内容を卒業論文などに活かせるようにすること。

フィードバック

講義中に適宜、質疑応答の時間を設定し、受講者へのフィードバックも行う。

評価方法・基準

レポートにより評価を行う。

授業概要

インターネットが発展し、便利になった反面、情報漏洩、ウィルス感染などの被害が増加している。授業ではインターネットが発展してきた歴史を解説し、情報セキュリティや仮想通貨の基礎を学習する。さらに、考古学分野においては、近年、情報技術が積極的に活用されてきており、遺跡・遺物を対象としたデジタル測量技術について解説する。

授業計画

＜1日目＞

午前は、インターネットの発展してきた歴史について、ネットワークの原理を含めて学習する。
午後は、インターネットを利用するときに必要な情報セキュリティや仮想通貨の基礎を学ぶ。

＜2日目＞

午前は、遺跡・遺物の3次元測量技術について解説する。
午後は、モンゴル国の土城や他国の土城などの測量結果をもとに比較検討する。

＜3日目＞

午前は、壁画のデジタル修復事例について、資料映像を見ながら考察する。
午後は、金代女真の城郭と日本の中世城郭の違いについて解説し、授業内容に関連したレポート課題を与える。

＜テキスト＞ ※受講時に配布します

書 名：東アジアの中世城郭 女真の山城と平城
著 者：臼杵勲
出版社：吉川弘文館

このページは空白です

11. 様 式

以下の様式はすべて必要に応じ、コピーしてご利用ください。

- ①スクーリング受講申込書
- ②スクーリング放課後の科目修得試験受験申込書
- ③学生割引証発行願
- ④出席依頼状発行願
- ⑤自動車通学申請書
- ⑥宿泊申込用紙
- ⑦スクーリング授業料返金願

スクーリング受講申込書
(2024年8月～2025年3月用)

学 籍 番 号		氏 名	
受講科目名 ※1科目のみ			
開 講 日 程	年 月 日～ 月 日		

※学年始めに履修登録をしていないスクーリング科目は受講することができません。

※本受講申込書は、開講日程ごとの申込期間をP11～13で確認の上、申込期間内に到着するよう郵送してください。(通信教育部事務室窓口提出可)

※スクーリング授業料納入用紙は、開講日程ごとの納入用紙発送日に申込者全員へ一斉に送付します。開講日程ごとの発送日はP11～13で確認してください。

※本受講申込書の郵送時に、必要な方は「学生割引証発行願」を同封してください。

※スクーリング放課後の科目修得試験申込期間は、スクーリング開講日初日の2週間前から4日前です。本受講申込書と一緒に郵送しないでください。

受付日	入力日	

キ リ ト リ

スクーリング受講申込書
(2024年8月～2025年3月用)

学 籍 番 号		氏 名	
受講科目名 ※1科目のみ			
開 講 日 程	年 月 日～ 月 日		

※学年始めに履修登録をしていないスクーリング科目は受講することができません。

※本受講申込書は、開講日程ごとの申込期間をP11～13で確認の上、申込期間内に到着するよう郵送してください。(通信教育部事務室窓口提出可)

※スクーリング授業料納入用紙は、開講日程ごとの納入用紙発送日に申込者全員へ一斉に送付します。開講日程ごとの発送日はP11～13で確認してください。

※本受講申込書の郵送時に、必要な方は「学生割引証発行願」を同封してください。

※スクーリング放課後の科目修得試験申込期間は、スクーリング開講日初日の2週間前から4日前です。本受講申込書と一緒に郵送しないでください。

受付日	入力日	

スクーリング放課後の科目修得試験 受験申込書
(2024 年 8 月～ 2025 年 3 月用)

受 験 日	年 月 日 ()		
学籍番号			
氏 名			
場 所	奈良大学通信教育部棟 2 階講義室		
スクーリング 受 講 科 目			
試 験 時 間		受 験 科 目 名	
5 限目	16:20～17:10		
6 限目	17:20～18:10		

※スクーリング受講者は、スクーリング実施要項で受験の可否を確認して受験可能日に申込みしてください。
申込期間は、スクーリング開講日初日の 2 週間前から 4 日前（必着）です。
※受験許可書は返送しませんので、試験当日開始時間までに通信教育部事務室まで取りにきてください。
※スクーリング受講科目欄は、受講するスクーリング科目名を記入してください。スクーリングを受講されない場合は、「なし」と記入してください。

受		入	
付		力	

奈良大学 通信教育部

スクーリング放課後の科目修得試験 受験許可書
(2024 年 8 月～ 2025 年 3 月用)

受 験 日	年 月 日 ()		
学籍番号			
氏 名			
スクーリング 受 講 科 目			
試 験 時 間		受 験 科 目 名	
5 限目	16:20～17:10		
6 限目	17:20～18:10		

S 放課後受験申込書の記入については、レポート返送時に同封文書の記入例を参照してください。

キ リ ト リ

スクーリング放課後の科目修得試験 受験申込書
(2024 年 8 月～ 2025 年 3 月用)

受 験 日	年 月 日 ()		
学籍番号			
氏 名			
場 所	奈良大学通信教育部棟 2 階講義室		
スクーリング 受 講 科 目			
試 験 時 間		受 験 科 目 名	
5 限目	16:20～17:10		
6 限目	17:20～18:10		

※スクーリング受講者は、スクーリング実施要項で受験の可否を確認して受験可能日に申込みしてください。
申込期間は、スクーリング開講日初日の 2 週間前から 4 日前（必着）です。
※受験許可書は返送しませんので、試験当日開始時間までに通信教育部事務室まで取りにきてください。
※スクーリング受講科目欄は、受講するスクーリング科目名を記入してください。スクーリングを受講されない場合は、「なし」と記入してください。

受		入	
付		力	

奈良大学 通信教育部

スクーリング放課後の科目修得試験 受験許可書
(2024 年 8 月～ 2025 年 3 月用)

受 験 日	年 月 日 ()		
学籍番号			
氏 名			
スクーリング 受 講 科 目			
試 験 時 間		受 験 科 目 名	
5 限目	16:20～17:10		
6 限目	17:20～18:10		

S 放課後受験申込書の記入については、レポート返送時に同封文書の記入例を参照してください。

学生割引証発行願（兼発行台帳）
（2024年4月～2025年3月用）

以下の通り学生割引証の交付をお願いします。

学籍番号				氏 名		
現住所	〒 _____					
乗車区間	J R _____ 線 _____ 駅（港）～ _____ 線 _____ 駅（港） （ _____ ） 経由 ※ J R の最寄駅を記入してください					
	使用目的	受講（受験）期間	受講（受験）地	購入乗車券の種類	※発行番号	
1 枚目	☐ スクーリング ☐ 科目修得試験 ☐ 博物館実習関係 ☐ 卒業論文面接指導 ☐ 卒業式	月 日～ 月 日	☐ 奈良大学 ☐ その他（ ）	☐ 片道切符 ☐ 往復切符	※使用可能期間	
					No / ~ /	
2 枚目	☐ スクーリング ☐ 科目修得試験 ☐ 博物館実習関係 ☐ 卒業論文面接指導 ☐ 卒業式	月 日～ 月 日	☐ 奈良大学 ☐ その他（ ）	☐ 片道切符 ☐ 往復切符	※使用可能期間	
					No / ~ /	
3 枚目	☐ スクーリング ☐ 科目修得試験 ☐ 博物館実習関係 ☐ 卒業論文面接指導 ☐ 卒業式	月 日～ 月 日	☐ 奈良大学 ☐ その他（ ）	☐ 片道切符 ☐ 往復切符	※使用可能期間	
					No / ~ /	

※発行日	※乗車距離	※受付日
／	km	

＜注意事項＞

- ・学生割引証は本学通信教育部の**正科生に発行します**。科目等履修生へは発行できません。
 - ・学生割引証は、ＪＲの鉄道・バス・航路を片道**101km以上乗車する場合に使用できます**。
（一部ＪＲ以外でも利用できる場合がありますので、各交通機関に確認してください。）
 - ・本発行願１枚につき、３枚まで学生割引証の発行が可能です。
 - ・同一日程で複数枚必要な場合は、必要枚数分を記入して提出してください。
 - ・記載事項をはっきりと記入し、**84円切手を本発行願の所定の欄に貼付**して郵送してください。
 - ・※欄は記入しないでください。
 - ・各欄の□には該当するものに印を入れてください。その他欄に印を入れた場合は、（ ）に内容を記入してください。
 - ・記入方法が分からない場合は、記入例を参考にしてください。
- (ここだけ) 84円切手貼付

(ここだけ糊付)
84円切手
貼 付

学生割引証発行願（兼発行台帳）
（2024年4月～2025年3月用）

記入例

※以下の例では、学生割引証を2枚発行します。

以下の通り学生割引証の交付をお願いします。

学籍番号	24P999	氏名	東京太郎		
現住所	〒113-0033 東京都文京区〇〇 1111-1111				
乗車区間	JR 東海道新幹線 東京 駅（港）～ 東海道新幹線 京都 駅（港） （ ） 経由 ※JRの最寄駅を記入してください				
	使用目的	受講（受験）期間	受講（受験）地	購入乗車券の種類	※発行番号 ※使用可能期間
1枚目	☒ スクーリング ☐ 科目修得試験 ☐ 博物館実習関係 ☐ 卒業論文面接指導 ☐ 卒業式	8月 2日～ 8月 4日	☒ 奈良大学 ☐ その他（ ）	☐ 片道切符 ☒ 往復切符	No. / ~ /
2枚目	☒ スクーリング ☐ 科目修得試験 ☐ 博物館実習関係 ☐ 卒業論文面接指導 ☐ 卒業式	8月 9日～ 8月 11日	☒ 奈良大学 ☐ その他（ ）	☐ 片道切符 ☒ 往復切符	No. / ~ /
3枚目	☐ スクーリング ☐ 科目修得試験 ☐ 博物館実習関係 ☐ 卒業論文面接指導 ☐ 卒業式	月 日～ 月 日	☐ 奈良大学 ☐ その他（ ）	☐ 片道切符 ☐ 往復切符	No. / ~ /

※発行日	※乗車距離	※受付日
/	km	

<注意事項>

- ・学生割引証は本学通信教育部の正科生に発行します。科目等履修生へは発行できません。
- ・学生割引証は、JRの鉄道・バス・航路を片道101km以上乗車する場合に使用できます。
（一部JR以外でも利用できる場合がありますので、各交通機関に確認してください。）
- ・本発行願1枚につき、3枚まで学生割引証の発行が可能です。
- ・同一日程で複数枚必要な場合は、必要枚数分を記入して提出してください。
- ・記載事項をはっきりと記入し、84円切手を本発行願の所定の欄に貼付して郵送してください。
- ・※欄は記入しないでください。
- ・各欄の□には該当するものに印を入れてください。その他欄に印を入れた場合は、（ ）に内容を記入してください。

（ここだけ糊付）
84円切手
貼付

年 月 日

奈良大学長 殿

学籍番号

氏 名

現 住 所 〒

電話番号

出席依頼状発行願

私は、次の期間（ ）に出席しますので、下記あてに出席依頼状をお送りくださるようお願いします。

記

1. 出席内容 :

2. 出席期間 : 年 月 日～ 年 月 日

3. 発送先住所 : 〒

会社名:

部署名:

役職名:

氏 名:

<注意事項>

- ・（ ）の中にスクーリング、科目修得試験など該当する出席内容を記入してください。
- ・記載事項をはっきりと記入し、84円切手を本発行願の所定の欄に貼付して郵送してください。
- ・発送先については、詳細に記入してください。
- ・本発行願1枚につき、原則として1枚の出席依頼状の発行となります。

（ここだけ糊付）
84円切手
貼 付

年 月 日

奈良大学長 殿

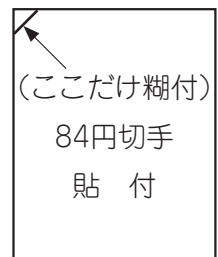
自動車通学申請書

下記の通り自動車通学の申請を行いますので、許可をお願いします。

学籍番号		氏 名		
現 住 所	〒 —			
	TEL () —			
申 請 期 間				
4 月 生	年 月 日 ~		年 3 月 31 日	
10 月 生	年 月 日 ~		年 9 月 30 日	
申請理由	※下記の＜注意事項＞を参照の上、自動車通学しなければならない理由を明確に記入してください。 「便利だから」等の申請理由では許可できません。			
車種（色）	()		(例) トヨタ プリウス (白)	
ナンバー			(例) 奈良300ん9999	
			※受 付	※備 考

＜注意事項＞

- ・ 自動車通学は、原則禁止です。特別な事情により自動車通学しなければならない場合のみ許可します。
- ・ 申請理由を明確に記入してください。理由によっては許可できない場合があります。
申請理由例) ・ 怪我により歩行が困難な為。
・ 公共交通機関で通学するとスクーリング開始時刻の10時に間に合わないが、自動車であれば通学時間が短縮されて、授業開始時刻に間に合う為。
- ・ 申請期間は今学年末まで（最長1年間）です。
- ・ 必要事項をはっきりと記入し、84円切手を本申請書の所定の欄に貼付して郵送（窓口提出可）してください。
- ・ ※印の欄は何も記入しないでください。



2024年度 奈良大学通信教育部スクーリング宿泊申込用紙

F A X ・ 郵送にてお申込ください。

F A X 0742-32-1172

学 籍 番 号			202 年 月 日記入	
フリガナ			性 別	年 齢
宿泊者氏名			男 ・ 女	歳
フリガナ				
現 住 所	〒 -			
	TEL	- -	FAX	- -
携帯等、昼間の連絡先をご記入ください		TEL	- -	
	宿 泊 希 望 施 設	ルームタイプ (申込記号)	ご宿泊利用日 チェックイン日～チェックアウト日	泊 数
(記入例)	ホテル葉風泰夢	B - 1	8月1日～8月4日	3泊4日
(全講義まとめて記入頂いても構いません。)		-	月 日～ 月 日	泊 日
		-	月 日～ 月 日	泊 日
		-	月 日～ 月 日	泊 日
		-	月 日～ 月 日	泊 日
		-	月 日～ 月 日	泊 日
		-	月 日～ 月 日	泊 日
		-	月 日～ 月 日	泊 日
		-	月 日～ 月 日	泊 日
		-	月 日～ 月 日	泊 日
		-	月 日～ 月 日	泊 日
★禁煙・喫煙のご希望があればご記入ください。(但し、ご希望に沿えない場合もございます。)				希望

《宿泊お申込先》

〒 630-8115 奈良市大宮町 6 - 2 - 19 東京海上日動ビル 2 階

東武トップツアーズ(株)奈良支店 奈良大学通信教育部スクーリングの宿 係

T E L : 050-9001-6307 / F A X : 0742-32-1172

☆個人情報の取扱いにつきましては、弊社は申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡の為に利用させて頂くほか、お申込頂いた旅行における運送・宿泊機関等が提供するサービスの手配・受領の為に手続きに必要な範囲内で利用させて頂きます。

(※必要な場合はコピーをしてお使いください)

奈良大学長 殿

学籍番号 _____

氏 名 _____

スクーリング授業料返金願

私は、受講予定であったスクーリング科目について、諸事情により受講することが出来なくなりました。

つきましては、既に納入している当該科目のスクーリング授業料を返金くださるようお願いいたします。

記

<欠席するスクーリング科目の情報>

受講日程 : _____ 年 _____ 月 _____ 日 () ~ _____ 年 _____ 月 _____ 日 ()

受講科目名 : _____

<スクーリング授業料を返金する銀行口座情報>

※本人名義の口座をご記入ください。

銀 行 名 : _____

支 店 名 : _____ (ゆうちょ銀行の場合は漢数字3桁)

口座種別 : 当座・普通

口座番号 : _____

口座名義(フリガナ): _____

(漢 字 名): _____

<注意事項>

・本返金願は郵送(窓口提出可能)してください。FAX送信では受け付けできません。

・取扱金融機関

国内の普通銀行(ゆうちょ銀行を含む)・信用金庫・労働金庫の本支店。ただし、ネットバンク・コンビニ銀行等は対象外となります。

・銀行口座情報は誤りのないよう提出前に必ず確認してください。

・ご記入の際は、間違いを防ぐためにも、文字は丁寧に楷書体でご記入ください。

・返金は、通信教育部事務室に本返金願が到着してから約1ヶ月後となります。

・ご提出いただいた個人情報は、授業料返金においてのみ利用し、それ以外の目的では使用いたしません。

以 上

スクーリングガイド

奈良大学通信教育部補助教材

発行 2024年4月1日

編集 奈良大学通信教育部

印刷 共同精版印刷株式会社

お問い合わせ先

〒631-8502 奈良県奈良市山陵町 1500

奈良大学 通信教育部 事務室

TEL 0742-41-9564 (直通)

FAX 0742-41-9604

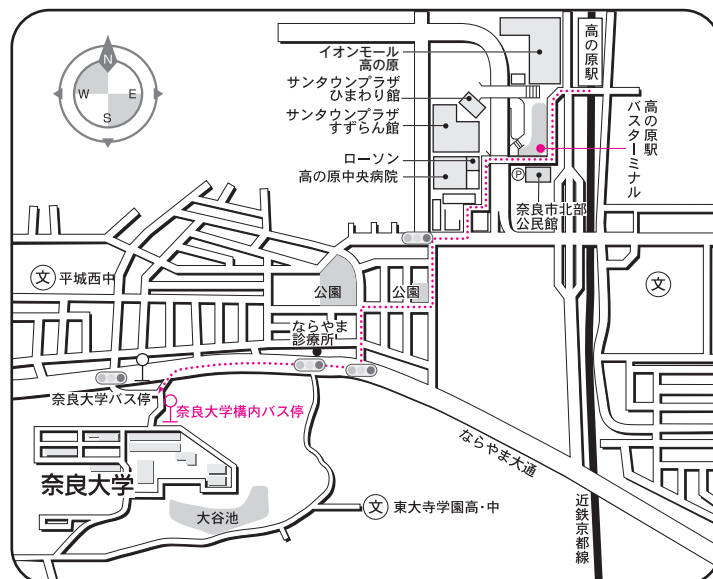
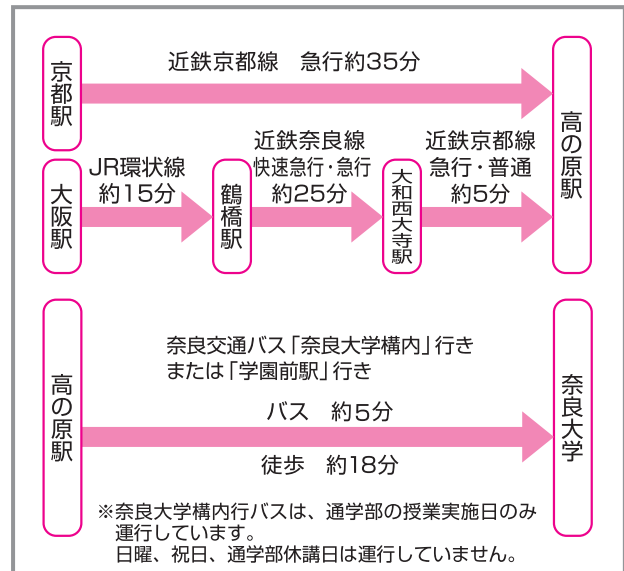
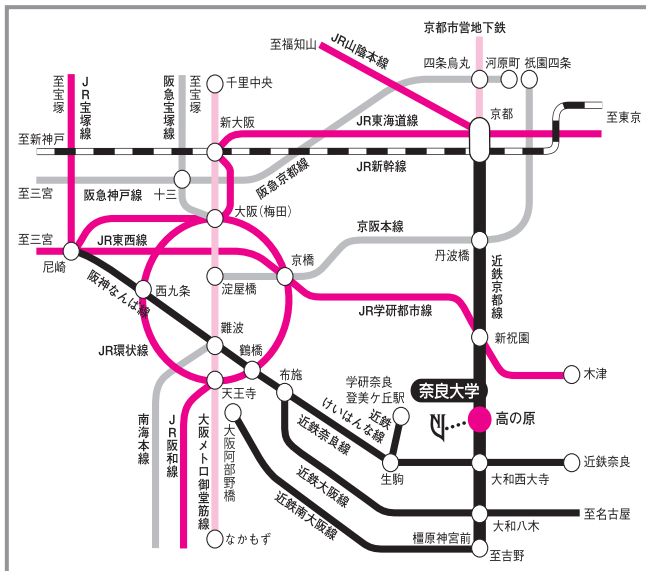
(受付時間) 平日：9時00分～16時30分 土曜日：9時00分～12時00分

電子メール：tsushin@aogaki.nara-u.ac.jp

奈良大学通信教育部に関する最新情報は以下のホームページに掲載しています。

<https://tsushin.nara-u.ac.jp/>

大学への交通案内（経路図、大学周辺図）



- 自動車通学は原則として禁止しています。
- 信号や横断歩道のない場所での道路横断は非常に危険ですので絶対におやめ下さい。